

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
315時間	11人		せいかつ☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとし、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとし、する態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	30	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。【サー(イ)】 (思判表力) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。【サー(ア)】 (学・人) 生命や自然について関心を持って考えて調べたり、表現しようとしたりする。 (知及技) 簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。【エー(イ)】 (思判表力) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。【エー(ア)】 (学・人) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、後片付けをしたりしようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って考えて調べたり、表現しようとし、取り組もうとしている。 (知・技) 友達の仲良く遊ぶことができる。 (思・判・表) きまりを守って遊ぼうとしている。 (主学) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、後片付けをしたりしようとし、取り組んでいる。	生命・自然 (年間を通して) ①自然との触れ合い あそび (年間を通して) ①いろいろな遊び ②遊具の後片付け	・木の実や落ち葉、石や貝殻等、拾ったものを使って遊ぶ。 ・身近にいる昆虫や、魚、貝等を見たり採ったりする。 ・蚊やはえ等の害虫に関心をもつ。 ・片づけをする。 ・時間を守って遊ぶ ・教師や友達と一緒に、簡単なごっこ遊びをする。 ・簡単なルールのある遊びをする。 ・順番や交代の意味がわかり、わがままを言わないで遊ぶ。 ・簡単な遊具で遊ぶ。 ・補助輪付きの自転車に乗って遊ぶ。 ・指示されて、遊具をゆずる。 ・自分の使っている遊具などを取られそうになったら、返してもらおうとする。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」 国「説明文を読もう」 算「しらべよう」
	5月	30	(知及技) 身近な人との接し方などについて知ることができる。【オー(イ)】 (思判表力) 身近な人を知り、挨拶や話などをしようとし、することができる。【オー(ア)】 (学・人) 自主的に挨拶や関わりを持つようとし、取り組もうとする。 (知及技) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。【アー(イ)】 (思判表力) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとし、することができる。【アー(ア)】 (学・人) 自主的に必要な身辺処理に取り組もうとする。	(知・技) 身近な人との簡単な応対の仕方を理解できている。 (思・判・表) 自分との関わりが分かり、考えて簡単な応対などを行っている。 (主学) 簡単な挨拶や応対をしようとしている。 (知・技) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 【アー(イ)】 (思・判・表) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとし、工夫している。【アー(ア)】 (学・人) 自主的に必要な身辺処理に取り組もうとしている。	人との関わり (年間を通して) ①自分自身と家族 ②身近な人との関わり 基本的生活習慣 ①食事 ②用便(ここからわーく) ③寝起き ④清潔 ⑤身の回りの整理 ⑥身なり (年間を通して)	・自分や家族の名前を言う。 ・教師や友達等、身近な人の名前を言う。 ・身近な人に自分から「おはよう」「さようなら」等のあいさつをする。 ・質問に答える形で、見たことや聞いたこと、遊んだことを話そうとする。 ・促されて、教師や友達におもちゃや学用品を貸す。 ・促されて、教師や友達の手助けをする。 ・教師や友達から借りた物は、丁寧に扱って返す。 ・年賀状や暑中見舞い等を書く。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「電話の相手と話をしよう」

1 学期	6月	30	〔知及技〕 簡単な手伝いや仕事について知ることができる。【キー（イ）】 （思判表力） 身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしてすることができる。【キー（ア）】 （学・人） 簡単な手伝いや仕事を進んでしようとする。 〔知及技〕 硬貨の種類を知り、分類することができる。【クー（イ）】 （思判表力） 簡単な買い物をしようとしてすることができる。【クー（ア）】 （学・人） 簡単な買い物を進んでしようとする。	〔知・技〕 簡単な手伝いや仕事について理解している。 （思・判・表） 身近で簡単な手伝いや仕事をしている。 （主学） 考えて日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとして取り組んでいる。 〔知・技〕 硬貨の種類を知り、分類できる。 （思・判・表） 簡単な買い物をしている。 （学・人） 簡単な買い物を進んでしようとして取り組んでいる。	手伝いや仕事 （年間を通して） ①手伝いや 金銭の扱い （年間を通して） ①金銭の扱い ②買い物	・学級で配ったり、集めたり等の簡単な手伝いをする。 ・他の教室へ、物を届けたたり、取りに行ったりする。 ・仕事に使う簡単な道具や器具の扱いに慣れる。 ・擬似硬貨アプリで、硬貨の名前や種類を知り、分類する。 ・ごっこ遊びやアプリを通して、買い物の仕方を知る。 ・品物を選ぶ、レジに行く、財布からお金を取り出し渡す、お釣りを受け取る、品物を袋に入れる等の一連の流れを練習する。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
	7月	30	〔知及技〕 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。【イー（イ）】 （思判表力） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。 【イー（ア）】 （学・人） 安全について考えたり、日常生活に関連付けて表現したりしようとする。	〔知・技〕 安全や防災に関わる知識や技能を身につけている。 （思・判・表） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう考えている。 （主学） 危険に気をつけ、安全に行動しようとしている。	安全 （年間を通して） ①危険防止 ②交通安全 ③自分の身を守る（ここからわーく）	・物を投げたり、高いところへ登ったりする等、危険な遊びをしない。 ・ガス栓、ライター、刃物などの危険な物にむやみに触れない。 ・知らない人についていけない。 ・道路を歩くときは、自転車や自動車に気を付ける。 ・道路を何人かで歩くときは、横に並んだり、ぶざけたりしない。 ・道路を横断するときは、左右を確かめ、手を上げて渡る。 ・道路を横断するときは、横断歩道や歩道橋を渡る。 ・道路へ急に飛び出さない。 ・知らない人に体をさわられたらイヤと言おう！ ・いかのおすし ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	
2 学期	9月	30	〔知及技〕 身近な生命や自然について知ることができる。【サー（イ）】 （思判表力） 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてすることができる。【サー（ア）】 （学・人） 身近な生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとしてしたりして取り組もうとする。	〔知・技〕 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 （思・判・表） 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、考えてそれらを表現している。 （主学） 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べて表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 （年間を通して） ②動物の飼育・植物の栽培	・身近な小動物をかわいがり、生き物への興味や関心をもつ。 ・草花の種を蒔いたり、球根等を植えて育てる。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	10月	30	〔知及技〕 身近な人との接し方などについて知ることができる。【オー（イ）】 （思判表力） 身近な人を知り、挨拶や話などをしようとしてすることができる。【オー（ア）】 （学・人） 自主的に挨拶等や関わりを持とうと取り組もうとする。	〔知・技〕 身近な人との簡単な応対の仕方を理解している。 （思・判・表） 自分との関わりが分かり、考えて簡単な応対などをしている。 （主学） 簡単な挨拶や応対をしようとしている。	人との関わり （年間を通して） ①電話や来客の取次ぎ ②気持ちを伝える応対	・人の来訪を教師に告げる。 ・教師の援助を受け、適切な場面で「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「電話の相手と話をしよう」

2 学 期	11月	30	〔知及技〕 簡単な手伝いや仕事について知ることができる。【キー（イ）】 （思判表力） 身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしてすることができる。【キー（ア）】 （学・人） 簡単な手伝いや仕事を進んでしようとする。 〔知及技〕 硬貨の種類を知り、分類することができる。【クー（イ）】 （思判表力） 簡単な買い物しようとしてすることができる。【クー（ア）】 （学・人） 簡単な買い物を進んでしようとする。	〔知・技〕 簡単な手伝いや仕事について理解している。 （思・判・表） 身近で簡単な手伝いや仕事をしている。 （主学） 考えて日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとして取り組んでいる。	手伝い・仕事 （年間を通して） ①手伝い ②整理整頓 ③戸締り ④そうじ ⑤後片付け 金銭の扱い （年間を通して） ①金銭の扱い ②買い物	・机やロッカーなどの中を 整頓する。 ・窓の開閉等の手伝いをする。 ・電気の点灯、消灯の手伝いをする。 ・ほうき、ぞうきん、ゴミ捨て、机よせ、拭き掃除をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
	12月	30	〔知及技〕 簡単なきまりやマナーについて知ることができる。【ケー（イ）】 （思判表力） 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしてすることができる。【ケー（ア）】 （学・人） 身近で簡単なきまりやマナーに従って行動しようとする。	〔知・技〕 簡単なきまりやマナーを理解している。 （思・判・表） 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動している。 （主学） きまりを守って学校生活を過ごそうとしている。	きまり （年間を通して） ①自分の物と他者の物の区別 ②学校のきまり	・自他の物を区別する。 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 ・学校の図書館で借りた本や運動用具等は、必ず返却する。 ・決められた場所で靴を履き替える。 ・廊下を歩くときは、右側を歩く。 ・集会や校外学習等の時は、指示に従って行動する。 ・登校時刻や下校時刻等を知り、守る。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	
3 学 期	1月	25	〔知及技〕 身近な生命や自然について知ることができる。【サー（イ）】 （思判表力） 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてすることができる。【サー（ア）】 （学・人） 身近な生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとしてしたりして取り組もうとする。	〔知・技〕 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 （思・判・表） 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、考えてそれらを表現している。 （主学） 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べて調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 （年間を通して） ③季節の変化と生活	・「太陽」「月」「星」等と昼夜との関わりに関心をもつ。 ・冬は寒く夏は暑い等の季節の特徴に関心をもつ。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	2月	25	〔知及技〕 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。【イー（イ）】 （思判表力） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。【イー（ア）】 （学・人） 安全について考えたり、日常生活に関連付けて表現したりしようとする。	〔知・技〕 安全や防災に関わる知識や技能を身につけている。 （思・判・表） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう考えている。 （主学） 危険に気をつけ、安全に行動しようとしている。	安全 （年間を通して） ③避難訓練 ④防災	・避難訓練のときは、教師の指示に従う。 ・「火事」「地震」「避難」などの言葉の意味がわかる。 ・教師や友達と一緒に行動し、地域の安全な場所を知る。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」

3 学 期	3月	25	(知及技) 簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 【ケ-(イ)】 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。【ケ-(ア)】 (学・人) 身近で簡単なきまりやマナーに従って行動しようとする。	(知・技) 簡単なきまりやマナーを理解している。 (思・判・表) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動している。 (主学) きまりを守って学校生活を過ごそうとしている。	きまり (年間を通して) ③日常生活のきまり ④マナー	・停留所や駅等で、並んで順番を待つ。 ・順番を守って乗り物の乗降をする。 ・決められた場所で遊ぶ。 ・火災報知器や消化器等をいたずらしない。 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座る、口に食物が入っているときは話さない等、身近な生活におけるマナーを身に付ける。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	
留意点 引継等			・学習発表会に関する内容を挿入する				
評価方法			・三観点の確認 ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・習熟度 ・行動観察 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・プリント ・ドリル ・iPadアプリ ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
140時間	11名		こくご☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	13	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現することができる。(2段階アー(ア)) (思判表力) ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべることができる。(2段階Aー(ア)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現している。 (思・判・表) ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしている。	学校のことを話そう ・がっこうせいかつ ・朝の会 本に親しもう (年間を通して) ・絵本の読み聞かせ ・本を借りよう ・どの場面が好き？	・身近な人との関わりの中で発せられる言葉を想起し、やり取りを深め、学校生活の場面に応じた会話や挨拶等をする。 ・絵本やパネルシアター等で簡単なお話を聞く。 ・図書室を利用し、好きな本を借りる。 ・友達との場面が好きなのか話し合ったり、模倣したりする。	生活 「見通しのある毎日の生活」 算数 「すうじをよもう」 特別の教科 道徳 「学校は楽しいね」 特別活動 「3・4年生になって」
	5月	13	(知及技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。(2段階イー(エ)) (思判表力) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(2段階Cー(エ)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもっている。 (思・判・表) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	標識を探そう ・しるしをみつけよう	・校内表示等の特徴を探して、シンボルマークや標識の写真を集める。 ・身近な標識やマークの特徴や意味を考える。	生活 「友達と協力して係活動しよう」 算数 「おなじ大きさで合わせてみよう」 音楽 「ドの音で遊ぼう」 図画工作 「作ってみよう」 特別な教科 道徳 「自然の中で」 特別活動 「本の世界を楽しもう」
			(知及技) ・日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。(2段階アー(イ)) (思判表力) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。(2段階Cーア) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・考えて日常生活でよく使われている平仮名を読んでいる。 (思・判・表) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ものの名前を学ぶ ・なまえなあんだ	・自分の名前やものの名前を文字で伝えるために、決まった組み合わせがあることを知り、具体物や絵と文字カードを一致させ、カテゴリーに分ける。 ・名前と実際の物を関連づけて想起できるよう日常生活に関わりのある題材を使用する。 ・児童が特徴を捉えやすいよう物を知覚や身振り等で表現する。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「形を作ろう」 音楽 「動物の鳴き声で遊ぼう」 図画工作 「感想画」 特別な教科 道徳 「生命がもつ力」

	7月	13	(知及技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(2段階アー(ウ)) (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。(2段階A-ウ) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れている。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なかま集め ・あつめてみよう	・テーマに沿った場面を思い浮かべ、絵を指差したり関係する言葉を話したりする。 ・実際の誕生会やパーティ等の写真を用意し、その時に使ったものや気持ち等身振りや言葉で表現する。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「数えよう、比べよう」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶」 特別活動 「学年紹介」
	9月	13	(知及技) ・日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。(2段階アー(イ)) (思判表力) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを考えることができる。(2段階C-ア) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・日常生活でよく使われている平仮名を読んでいる。 (思・判・表) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを考えている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	日常生活の言葉 (年間を通して) ・ひらがなをよんでみよう	・50音の配列を参考にし「あ段」の言葉からリズムよく読み進める。 ・知っている平仮名や自分の名前に使われている平仮名を探し声に出して読む。 ・「あ」のつく言葉等の言葉集めをし、知っている言葉の数を増やす。	生活 「公共施設を知ろう」 算数 「なんばんめ」 特別の教科 道徳 「わがまをしない」 特別活動 「平和学習」
	10月	13	(知及技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(2段階アー(ウ)) (思判表力) ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。(2段階A-イ)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れている。 (思・判・表) ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	絵から想像して話してみよう ・おはなしできるかな	・絵を見て、「どこへ行ったのか」「何を買ったのか」「何をして遊ぶか」「何ができるか」の場面から連想するイメージを表現する。	生活 「公共施設を知ろう」 算数 「くらべてみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別活動 「遊び大会をしよう」
2学期	11月	13	(知及技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(2段階アー(ウ)) (思判表力) ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべることができる。(2段階A-ア)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れている。 (思・判・表) ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	文の構成 (年間を通して) ・くわしくはなそう	・色や量、長さを表す形容詞を使ってものの状態を説明したり反対の意味を聞いたり使ったりして表現をする。	算数 「なかま分け」 図画工作 「見てみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」
	12月	13	(知及技) ・いろいろな筆記用具を用いて、書くことができる。(2段階イー(ウ)あ㊟) ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きができる。(2段階イー(ウ)㊨) (思判表力) ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりすることができる。(2段階B-イ)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・いろいろな筆記用具を用いて、できるだけ自分で書いている。 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きをしている。 (思判表力) ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	運筆に親しもう (年間を通して) ・かいてみよう	・文字の形を意識して運筆に親しむために点線、波線、筆順を言語化しながらリズムカルになぞったり結んだりする。	算数 「比べる言葉」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「よいと思うことをすすんで」 特別活動 「2学期を振り返ろう」

3 学 期	1 月	12	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉で気持ちや要求を表すことができる。(2段階Aー(ア)) ・いろいろな筆記用具を用いて、書くことができる。(2段階イー(ウ)⑦) ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けることができる。(2段階イー(ウ)①) (思判表力) ・経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(2段階Bーア) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。(2段階Bーイ) (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉で気持ちや要求を表している。 ・いろいろな筆記用具を用いて、書いている。 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けている。 (思・判・表) ・経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしている。 ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	(年間を通して) 日常生活の言葉 ・ひらがなをかいてみよう	・正しい書写の姿勢で、マス目の中に文字を縦書きや横書きで書いたり、カードや手紙を書いたりする。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「身近なかたち」 図画工作 「敬老の日のプレゼントを作ろう」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「交流会をしよう」
	2 月	12	(知及技) ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりすることができる。(2段階イー(ア)) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現ができる。(2段階イー(イ)) (思判表力) ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすることができる。(2段階Aー(エ)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりしている。 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現をしている。 (思・判・表) ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	お話を演じてみよう ・おおきなだいこん	・絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、イメージを言葉にする。 ・劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら動作模倣や台詞を表現する。	生活 「お金の大切さを考えよう」 算数 「見た目の大きさで分けてみよう」 音楽 「音楽でお話を楽しもう」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「自然の中で」 特別活動 「展示祭」
	3 月	12	(知及技) ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりすることができる。(2段階イー(ア)) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現ができる。(2段階イー(イ)) (思判表力) ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現することができる。(2段階Aー(エ)) (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。(2段階)	(知・技) ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりしている。 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現をしている。 (思・判・表) ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現している。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	お話を演じてみよう ・おおきなだいこん	・絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、イメージを言葉にする。 ・劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら動作模倣や台詞を表現する。	生活 「お金の大切さを考えよう」 算数 「見た目の大きさで分けてみよう」 音楽 「音楽でお話を楽しもう」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「自然の中で」 特別活動 「展示祭」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・習熟度 ・行動観察 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・プリント ・ドリル ・iPadアプリ ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105時間	11名		さんすう☆☆ (1) さんすう☆☆ (2)

			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的2段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的2段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的1～3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的 視点他教科との 関連
Ⅰ 学期	4月	10	(知及技) ものともとのとを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少がわかる。(Aア(ア)㉞) (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。(Aア(イ)㉞) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ものともとのとを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少がわっている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	さんすう☆☆(1) 本P4 ・くみあわせ① さんすう☆☆(1) 本P6 ・くみあわせ② さんすう☆☆(1) 本P8 ・くみあわせ③	・くみあわせ①では、実際に具体物を操作してものともを結びつける活動をする。一対一対応が理解できたことを確認した上で、教科書の挿絵を線や指差してつなぐ活動に移る。 異質のものを意味で結びつけるという一対一対応の意味やその表現について理解できるようにする。 ・くみあわせ②では、「同じ」という言葉と内容(過不足のない状態)を結びつけて考えられるようにしていく。 ・くみあわせ③では、挿絵を一対一対応していく中で、数が合わないことに気付き、「多い」「少ない」「同じ」という数の多少について理解できるようにする。	音楽「すうじのうた」
	5月	10	(知及技) ものの集まりと対応して、数詞がわかる。(Aア(ア)イ) (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。(Aア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ものの集まりと対応して、数詞がわっている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	さんすう☆☆(1) 本P10 ・10までのかず かぞえましょう① さんすう☆☆(1) 本P12 ・10までのかず かぞえましょう② さんすう☆☆(1) 本P14 ・10までのかず かぞえましょう③ さんすう☆☆(1) 本P16 ・10までのかず かぞえましょう④	・①では、数としての意識ではなく、ロザむよな気持ちで数唱に親しむ。数唱の際には、数の系列に従って順番に並ぶルールがあることが自然と分かるようにする。 ・②では、数唱から数える学習への導入を図る。数える具体物が焦点化しにくい場合は、1種類ずつ提示して数える。数唱していき、最後の数詞が集合数であることを確認する。 ・③では、「みんなで」「ぜんぶで」などを意図的に使い、順序数ではなく、まとまり(かたまり)として「じゅう」であることを強調する。「同等」の復習をする。 ・④では、雑然と配置されたものを数える。おはじきを使用し、具体物を半具体物に置き換えて数える学習の導入を図る。	
	6月	10	(知及技) ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。(Aア(ア)ウ) ・個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。(Aア(ア)エ) (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。(Aア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ものの集まりや数詞と対応して数字がわっている。 ・個数を正しく数えたり書き表したりしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	さんすう☆☆(1) 本P18 ・10までのかず さんすう☆☆(1) 本P24 ・カードづくり① さんすう☆☆(1) 本P28 ・カードづくり② さんすう☆☆(1) 本P30 ・カードづくり③	・「数唱・数える・数字を知る」学習をする。具体物(動物)と動かせる半具体物(おはじき)を一対一対応させ、さらに半具体物(おはじき)と動かせない半具体物(ドット)を一対一対応させ、それを表す数字と読み方を知るという段階を経て「数」というものを認識できるようにする。 ・カード作り①では、1から10までの数字(数詞)の読み方、書き方を学習する。筆順にも注意を向ける。 ・②では、動物の数を数字で書き入れていく。 ・③では、復習を兼ねて、自分で作ったカードの数字を見て、おはじきを枠の中に並べる。	

	7月	10	（知及技）個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。（Ａア（ア）エ） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。（Ａア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）個数を正しく数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	さんすう☆☆（１）本 P32 ・10までのかず みえなものをかぞえる さんすう☆☆（１）本 P33 ・10までのかず うごきをかぞえる	・具体物（太鼓の音）一つ一つに対して、半具体物（おはじき）を一对一对応して置いていく。おはじきの数が太鼓を叩いた数とする。順序数ではなく、集合数であることに留意する。 ・数字カード、ドットカード、おはじきを同時に提示すると視覚的に理解でき集合数としての確認としても効果的である。 ・縄跳びで着地したタイミングで数を数える。指を折ったり、おはじきで回数を表したりする。	
	9月	10	（知及技）色や形、大きさに着目して分類することができる。（Ｂア（ア）㊦） ・身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。（Ｂイ（ア）㊦） （思判表力）ものの色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。（Ｂア（イ）㊦） ・身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。（Ｂイ（イ）㊦） （学・人）身の回りにあるものの形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって活動することができる。	（知・技）色や形、大きさに着目して分類している。 ・身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ろうとしている。 （思・判・表）ものの色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かしている。 ・身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 （主学）身の回りにあるものの形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって活動している。	○なかま分け さんすう☆☆（２）本 P4～6 ・なかまあつめ①～③	・教科書の挿絵を見て、具体的に何が違うかを確認する。 ・身の回りの色違いのものを用意し、色に注目して分類する活動を行う。 ・色を3色以上にしていくなど、難易度をあげて行う。 ・材質や色、大きさの同じ直方体や三角柱の積み木を使用し、2種類の形に注目して分類を行う。 ・2種類でできる場合は、難易度をあげて積み木の種類を増やして分類を行う。 ・積み木を使用しながら丸、三角、四角という名称を伝えていく。 ・大きさの違いがはっきりしているものを提示し、大きさに着目して分類を行う。	
2学期	10月	9	（知及技）身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。（Ｂイ（ア）㊦） ・大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。（Ｂイ（イ）㊦） （思判表力）、身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。（Ｂイ（イ）㊦） （学・人）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味を持つことができる。	（知・技）身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。 ・大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりしている。 （思・判・表）、身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 （主学）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味を持っている。	○身近なかたち さんすう☆☆（２）本 P12～19 ・まる、さんかく、しかく①～④	・丸、三角、四角の形がはっきりした型はめや色板教材を使用し、丸、三角、四角という名称を使って型にはめたり形を合わせたりする。 ・丸、三角、四角の形の特徴を知るために、形の輪郭をなぞったり、形の特徴を表すような言葉で表現して名称と形を結び付ける。 ・様々な材質の丸、三角、四角の形を準備し、材質が違っていても形で分類することができるようにする。 ・形をテーマにした「さよならさんかく」の絵本を使用し、絵の中にどの形があるか探す。 ・教科書の挿絵を使用し、絵の中に丸、三角、四角を見つける活動を行う。 ・身の回りのあるものを丸、三角、四角に分類する。（教室内、校内） ・iPadアプリを利用して、身の周りのものの形の仲間集めをするゲームを行う。（どれかな？仲間探しアプリ） ・校内で児童の好きな場所などを写真に撮り、そこから丸、三角、四角の形があるか探す。	
	11月	9			○身近なかたち さんすう☆☆（２）本 P20～21 ・いろいろなかたち①		

3 学 期	1 2 月	9	（知及技）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさを理解することができる。（C測定ア（ア）ア） ・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。（Cア（ア）イ） ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語を理解することができる。（Cア（ア）ウ） （思判表力）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現している。（Cア（イ）ア） （学・人）具体物を観察し量の属性に注目し二つの量を比べることに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとするができる。	（知・技）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさを理解している。 ・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べている。 ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語を理解している。 （思・判・表）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現している。 （主学）具体物を観察し量の属性に注目し二つの量を比べることに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう さんすう☆☆（2）本 P26～27 ・ながい、みじかい さんすう☆☆（2）本 P28～29 ・おもい、かるい さんすう☆☆（2）本 P30～31 ・たかい、ひくい さんすう☆☆（2）本 P32～33 ・ひろい、せまい	・長さの違う平均台を歩いて渡り、長さを感じる。 ・衣服（長ズボン、半ズボンなど）や靴などを比べる。 ・重さの違うバケツを運び、重さを感じる。 ・人を乗せて引っ張る遊具に児童が乗り、引っ張る。 ・肋木に登り、高さを感じる。 ・高さが違う鉄棒に掴まったり、ぶら下がったりし高さを感じる。 ・広さが違うレジャーシートを広げ、複数的人数で座り広さを感じる。	国語「お話を演じてみよう」 図画工作「紙版画の作品作り」
	1 月	8			くらべてみよう さんすう☆☆（2）本 P34 ・どっちがおおきい、どっちがちいさい さんすう☆☆（2）本 P36 ・どっちがながい、どっちがみじかい さんすう☆☆（2）本 P38 ・どっちがおもい、どっちがかるい さんすう☆☆（2）本 P40 ・どっちがたかい、どっちがひくい さんすう☆☆（2）本 P42 ・どっちがひろい、どっちがせまい	・基準に対して大きい・小さい、長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどに区別し、用語を用いる。 ・大きさの違う3のボールの中から比較する物を二つ取り出し比べる。 ・鉛筆や色鉛筆、クレヨンを実際に触ったり、視覚をとおして長さの違いを比べる。 ・中身の量が違う同じ形のペットボトルを持ち比べ、飲料水をコップに注ぐ。 ・飲料水を注いだコップと空のコップを持ち比べる。 ・高さが違う跳び箱を準備したり、上に乗ったり、跳んだりして高さを比べる。 ・体育館で色分けされている広さが違うラインの上を歩き、広さを比べる。	国語「お話を演じてみよう」 図画工作「ゴムゴムパワー」
	2 月	10	（知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。（Dア（ア）ア） （思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、興味を持って分類することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類している。 （思・判・表）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類している。 （主学）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、興味を持って分類しようとしている。	☆☆（2）本P50～51 ・わけてみよう① ☆☆（2）本P52～53 ・わけてみよう②	・①では、挿絵のボールやカゴの色に着目し、具体物や色カードを使って分ける活動を行う。 ・カゴに見本のボールを入れたり、写真を貼ったりするなど、見て分かるような工夫をする。 ・色を変えたり、違う色を混ぜたり、大きさを変えたりして分ける活動を行う。 ・②では、「ケーキを食べるときに使う物」など、組み合わせを考える視点を示し、実際に使う場面を想起しやすいようにする。 ・具体物に触れて直接操作するなど、身体を使って体験的に確認する。	

3月	10	(知及技) ものともとの対応させることによって、ものの同等や多少を理解することができる。(Dイ(ア)ア) ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができる。(Dウ(ア)ア) ・簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解することができる。(Dウ(ア)イ) (思判表力) 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。(Dイ(イ)ア) ・身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。(Dウ(イ)ア) (学・人) ものの個数やグラフに関心をもち、主体的に取り組むことができる。 ・○×を用いた表に関心をもちることができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) ものともとの対応させることによって、ものの同等や多少が分かっている。 ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成している。 ・簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かっている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現している。 ・身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現している。 (主学) ものの個数やグラフに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ・○×を用いた表に関心をもち、日常生活で活用しようとしている。	さんすう☆☆(2) 本P54～55 ・かつのは、どっち さんすう☆☆(2) 本P56～57 ・あたったら、はずれたら	・P54の挿絵を見て、勝敗の決め方を考え、玉の数に注目することにより、気付き、分かりやすくするためにはどうしたらいいかを考える。 ・玉入れを行う。玉を取り出す時は意図的に間隔を均等にせずに並べ、均等に配置することが必要であることに気付けるようにする。 ・表を掲示したボードを用意する。かごから玉を1個取り出した後、ボードの表に丸印を貼り、玉とボードの丸印は1対1の対応になることを確認する。赤と白を同時に1個ずつ取り出していることにも気づけるようにする。 ・表を見比べることにより、視覚的に赤と白の「多い」「少ない」「同じ」を考え、丸印の数で多少が分かることに気付く。 ・P56の挿絵を見ながら的当てゲームのやり方やルールを確認する。 ・挿絵を見ながら○のカードに注目するように声をかけ、○×の記号の意味を考えるように促す。 ・貼られた表に気付くようにし、○×のカードを貼っていくことで、ゲームの結果を記録として残せることを確認する。 ・表やカードを作成し、的当てゲームを行う。当たったら「まる」当たらなかったら「ばつ」と声に出して言いながら○×カードを提示し、同時に表に貼る。	国語「相手の気持ちを考えてみよう」 体育「的当てゲーム」
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・習熟度 ・行動観察 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・プリント ・ドリル ・iPadアプリ ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	11名		おながく☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	(2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	5	(知及技) 音楽に合わせて打楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) (思判表力) 優しい曲想に気づき、好きな部分をロずさんだり歌ったりすることができる。(2段階Aア) (学・人) 友達とのやりとりを楽しみながら表現をする。(2段階)	(知・技) 音楽に合わせて打楽器を鳴らそうとしている。 (思・判・表) 優しい曲想に気づき、好きな部分をロずさんだり歌ったりして表現している。 (主学) 友達とのやりとりを楽しみながら表現している。	○一緒に音を鳴らそう(器) ・てをたたきましよう ○曲の雰囲気を感じて歌おう(歌) ・はるのおがわ ○歌に合わせて身ぶりで遊ぼう(身) ・さあみんな ・ひらいたひらいた	・リズムに合わせて手拍子や足踏みなどをする。 ・タンブリンやカステネットなどの打楽器を用いて、リズム打ちをする。 ・動画や写真を見ながら、曲を鑑賞する。 ・歌ったり、部分的に歌ったりする。 ・一列になったり、輪になったりして座り、曲に合わせて手拍子をしたり歌詞に合わせた動作をしたりする。 ・全員で手をつないで輪を作り、拍に合わせて手を振ったり、足踏みをしたりする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス 特 「平和学習」
	5月	7	(知及技) リズムを感じ、音楽に合わせて打楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) (思判表力) 歌詞に親しみをもち、好きな部分をロずさんだり歌ったりすることができる。(2段階Aア) (学・人) 歌詞に出てくる言葉に合わせた簡単な動作をする。(2段階)	(知・技) リズムを感じ、音楽に合わせて打楽器を鳴らしている。 (思・判・表) 歌詞に親しみをもち、好きな部分をロずさんだり歌ったりしている。 (主学) 歌詞に出てくる言葉に合わせた簡単な動作をしている。	○一緒に音を鳴らそう(器) ・おもちゃのちゃちゃ ○曲の雰囲気を感じて歌おう(歌) ・すうじのうた ○歌に合わせて身ぶりで遊ぼう(身) ・いっばんばしこちょ ○交流学習に関する曲	・「ちゃちゃちゃ」の部分の歌ったり手拍子で演奏したりする。 ・打楽器を鳴らす。 ・歌に合わせて提示する絵を見て楽しむ。 ・歌詞に合わせてイラストを貼りながら歌って楽しむ。 ・ペアを組み、向かい合った相手が歌詞に合わせて手指を動かし、くすぐられることを楽しむ。 ・速度や強弱などの変化をつけて、曲に合わせて手遊びを楽しむ。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス 特 「平和学習」
	6月	7	(知及技) 示範を見て模倣し、体を動かすことができる。(2段階Aア) (思判表力) ①有音程打楽器の鳴らし方を知り、音の速さや強弱などを変えて楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) ②身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。(2段階Bア) (学・人) 合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりする。(2段階)	(知・技) 示範を見て模倣し、体を動かしている。 (思・判・表) ①音程打楽器の鳴らし方を知り、音の速さや強弱などを変えて楽器を鳴らしている。 ②身近な人の演奏を見たり、身体で表したりしながら聴いている。 (主学) 合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりしている。	○歌に合わせて体を動かそう(身) ・エビカニクス ○歌に合わせて楽器を鳴らそう(歌・器・音) ・とけいのうた ○様子を思い浮かべて聴こう(鑑) ・あめふりくまのこ ○歌のまねっこで遊ぼう(歌) ・こぶたぬきつねこ ○交流学習に関する曲	・「エビ」「カニ」の姿や動きの特徴をイラストや写真で確認する。 ・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・友達と一緒に踊る。 ・好きな打楽器を選び、歌に合わせて拍打ちをする。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。 ・教師がペアになって交互唱し、聴いて楽しむ。 ・交互唱をして楽しむ。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス 特 「平和学習」
	7月	6	(知及技) 呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 動物の動きをイメージして、友達や教師と一緒に体を動かすことを楽しむことができる。(2段階Aエ) (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つ。(2段階)	(知・技) 呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりしている。 (思・判・表) 動物の動きをイメージして、友達と一緒に体を動かして表現している。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持って取り組んでいる。	○歌のまねっこで遊ぼう(歌) ・あいあい ○歌に合わせて体を動かそう(身) ・プールでちゃっぶん ○タンとウンのリズムで遊ぼう(器) ・ぶんぶんぶん	・教師がパネルシアター等を操作しながら、「アーアイ」「アイアイ」の部分の二人で交互に歌うのを聴く。 ・教師が歌って呼びかけ、児童が答えの部分で歌う。 ・プールで使う小道具を選び、範唱に合わせて、イメージを膨らませながら、様々な泳ぐ動作をする。 ・動物のお面をして、それぞれの動物の動きを身体表現する。 ・友達と一緒にリズムの違いを感じて演奏する。 ・それぞれのパートに分かれて、演奏する。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス

2 学 期	9月	7	〔知及技〕①声を合わせて歌うことができる。(2段階Aア) ②音楽の雰囲気や季節感を感じながら鑑賞することができる。(2段階Bア) ③絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕リズムや歌詞に合わせた身体表現をすることができる。(2段階Aエ) ②身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。(2段階Bア) 〔学・人〕拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに親しむ。(2段階)	〔知・技〕①声を合わせて歌う。 ②音楽の雰囲気や季節感を感じながら鑑賞している。 ③絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らしている。 〔思・判・表〕リズムや歌詞に合わせた身体表現をしている。 ②身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴いている。 〔主学〕拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持って取り組んでいる。	○ドの音で遊ぼう(器・鑑) ・まほうのド ・どこどこド ○季節の歌(歌・身・鑑) ・やきいもグーチーパー ○様子思い浮かべて聴こう(鑑) ・もりのくまさん	・はじめはゆっくりとしたテンポから始め、歌ったり、部分的に歌ったりする。 ・じゃんけん部分だけに動きをつけて、歌に合わせて「ぐー」「ちよき」「ばー」の動作をする。 ・歌詞に合わせて身体表現をする。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。 ・好きな楽器を選んで自由に鳴らす。 ・選んだ楽器を用いて、歌詞に合わせて鳴らしたり、友達と一緒に合奏したりする。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「体づくり運動①」 特 「運動会で全力を出そう」
	10月	7	〔知及技〕①動物の動きを表す擬態語や曲に合わせた動きを表現することができる。(2段階Aエ) ②絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕①身振りの大きさや歌声の強弱などを工夫することができる。(2段階Aア) 〔学・人〕特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かす。(2段階)	〔知・技〕①動物の動きを表す擬態語や曲に合わせた動きを表現している。 ②絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らしている。 〔思・判・表〕①身振りの大きさや歌声の強弱などを工夫して表現している。 〔主学〕特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かしている。	○動物の鳴き声で遊ぼう(歌・音・身) ・どうぶつたいそう1・2・3 ○ドの音で遊ぼう(器・鑑) ・まほうのド ・どこどこド ○季節の歌(歌・身) ・きのこ ○遠足・校外学習に関する曲 ・バスに乗って ・公園に行きましょう	・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・友達と一緒に踊る。 ・使用する楽器を自由に鳴らす。 ・絵譜を見ながら、「ド」の音のタイミングで手拍子をしたリ「ド」の音を鳴らしたりする。 ・キノコの挿絵や紅葉、すすきなどの映像を見て、秋の雰囲気を感ずる。 ・繰り返し出てくる「きききのこ」の歌詞をリズムに合わせて歌唱する。 ・使用する楽器を自由に鳴らす。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 算 「すうじをよもう」 「数えよう、比べよう」 体 「表現運動②」 ・ダンス
	11月	7	〔知及技〕呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。(2段階Aア) 〔思判表力〕テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌うことができる。(2段階Aア) 〔学・人〕特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かす。(2段階)	〔知及技〕呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりする。(2段階Aア) 〔思・判・表〕テンポや音量の違いを感じて歌う等、工夫している。 〔主学〕特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かそうとしている。	○身ぶりをつけてみんなて歌おう(歌・身) ○ふしぎなポケット(2段階Aア) ○リズムを楽しもう(器) ・やまのおんがくか ○遠足・校外学習に関する曲 ・バスに乗って ・公園に行きましょう	・ポケットにビスケットが入っているイラストを用意し、増えていく様子を示しながら範唱する。 ・「ひとつ」や「ふたつ」等、曲の一部分を歌う練習をする。 ・回数に合わせて手拍子や楽器でリズム打ちをする。 ・タンブリンやカスタネットなどの身近な楽器を用いて、リズム打ちする。	国 A 聞くこと・話すこと C 読むこと 算 「数えよう、比べよう」 体 「表現運動②」 ・ダンス
	12月	6	〔知及技〕リズムに合わせてスキップやギャロップをしたり歩いたりしながら歌うことができる。(2段階Aア) 〔思判表力〕身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。(2段階Bア) 〔学・人〕友達一緒に、リズムに合わせて体を動かす。(2段階)	〔知・技〕リズムに合わせてスキップやギャロップをしたり歩いたりしながら歌っている。 〔思・判・表〕身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴いている。 〔主学〕友達と一緒に、リズムに合わせて体を動かしている。	○季節の歌を歌おう(歌・身) ・ゆき ○様子を思い浮かべて聴こう(鑑) ・ほしにねがいを ・はくちょう ○クリスマスソングを踊ろう(身) ・ハッピークリスマス ○リズムを楽しもう(器) ・やまのおんがくか	・教師が「ゆきや」と歌い、児童が「こんこ」とこたえるように歌う。 ・教師と一緒にリズムに合わせてスキップやギャロップをしたり、リズムに合わせて歩いたりしながら歌う。 ・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・教師や友達と一緒に踊る。 ・タンブリンやカスタネットなどの身近な楽器を用いて、リズム打ちする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	1月	7	〔知及技〕①身体の手的位置と音階の高低を対比させ、身体表現をしながら歌うことができる。(2段階Aエ) ②ドレミの3音を組み合わせた曲の階名唱をしたり鍵盤楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕①歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌うことができる。(2段階Aア) ②好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら友達と歌唱や身体表現をすることができる。(2段階Aエ) 〔学・人〕身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもつ。(2段階)	〔知・技〕①身体の手的位置と音階の高低を対比させ、身体表現をしながら歌おうとしている。 ②ドレミの3音を組み合わせた曲の階名唱をしたり鍵盤楽器を鳴らしている。 〔思・判・表〕①歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌って表現している。 ②好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら友達と歌唱や身体表現をしている。 〔主学〕身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもって取り組んでいる。	○ドレミの音で遊ぼう(器) ○ドレミで楽しく歌おう(歌・身) ・ドレミの歌 ・あのね ○季節の歌(歌) ・おしょうがつ ・もちつき ○音楽で会話を楽しもう(鑑) ・おおきなかぶ	・曲を聴く。 ・身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。 ・音名に合わせて、楽器を鳴らす。 ・歌詞をパネルシアターやICT端末等を見ながら範唱する。 ・身体表現と共に友達と一緒に歌う。 ・身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ 「お話を演じてみよう」 ・おおきなだいこん C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス 特 「愛汗祭」

3 学 期	2月	7	(知及技)「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。(2段階アイ)(思判表力)身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもつことができる。(2段階Aエ) (学・人)歌詞に出てくる言葉に合わせた身体表現をする。(2段階)	(知・技)「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏している。 (思・判・表)身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもって表現している。 (主学)歌詞に出てくる言葉に合わせた身体表現している。	○ドレミで楽しく歌おう(歌・身) ・ドレミの歌 ○ドレミの音で遊ぼう(器) ・ドレミであいさつ ○リズムに合わせて遊ぼう(音・身) ・赤田首里殿内	・音名に合わせて、楽器を鳴らす ・身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。 ・教科書の挿絵や沖縄の風景を写した画像や映像などを見て歌う。 ・お囃子の部分で、歌詞に合わせた手遊びをする。	国 A 聞くこと・話すこと C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	3月	4	(知及技)「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。(2段階アイ)(思判表力)歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌う等工夫している。 (学・人)曲の盛り上がりを感じて自然と発声したり、体を動かしたりする。(2段階)	(知・技)「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏している。 (思・判・表)歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌う等工夫している。 (主学)曲の盛り上がりを感じて自然と発声したり、体を動かしている。	○ドレミの音で遊ぼう(器) ・ドレミであいさつ ○季節の歌(歌・鑑) ・うれしいひなまつり ○リズムに合わせて遊ぼう(音・身) ・じえっとこすたー ○校歌	・階名唱をする。 ・トーンチャイムやハンドベル等の単音楽器を使って、演奏する。 ・1フレーズずつ教師の範唱を模唱する。 ・「五人ばやし」「お内裏様」「おひな様」「官女」「右大臣」など、歌詞に登場する人形を描いたペープサート等を、揺らしながら歌う。 ・前半部分の音楽に合わせて身体表現(走る)をする。 ・後半部分の音楽に合わせて身体表現(止まって揺れる)をする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・習熟度 ・行動観察 ・記録 ・発言 ・発表 ・iPadアプリ ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	11名		「あそびのずかん (ひかりのくに)」 ワークシート

			(知及び技) 知識及び技能	教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことと表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとする。(2段階Aウ)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動ができている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとしている。	体づくり運動① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックやダンス(年間を通して)をしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミックやダンス(年間を通して) リズムやカウントに合わせて体を動かす。 学期毎に曲を変える ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	6	(知及技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとする。(3段階Aウ)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動ができている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとしている。	体づくり運動① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックやダンス(年間を通して)をしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミックやダンス(年間を通して) リズムやカウントに合わせて体を動かす。 学期毎に曲を変える ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	6月	6	(知及技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (学・人) うがい・手洗いに取り組もうとする。(2段階Gア)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (主学) うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・大縄跳びをしよう 保健(年間を通して) ・うがい、手洗い(ここからわーく)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・大縄跳び 縄をまたいだり、跳んだりする。 ・感想発表 ・手洗いの手順 ・入浴の方法(体の洗い方)	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	7月	7	(知及技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Eイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。(2段階Eウ)	(知・技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームができている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム① ・ボールを転がしてみよう、投げてみよう、打ってみよう	・集合 ・準備体操 i 色々なボールを使って遊ぶ サッカー、バレー、バスケット、大玉、その他 ii ボール転がし ボールを転がして的に当てる。 iii ボール投げ ボールを投げて的に当てる。 iv ボールを打つ バットで打つ。 ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	9月	6	(知及技) 楽しく水の中で基本的な運動をすることができる。(2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。(2段階Dウ)	(知・技) 楽しく水の中で基本的な運動ができてい る。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。	水の中での運動② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・動物まねっこ アヒル、カエル、ワニ、他 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	10月	7	(知及技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Eイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。(2段階Eウ)	(知・技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームができてい る。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム② ・ボールを蹴ってみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り(サッカー) ボールを蹴って、的に当てる。 ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・パスをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	7	(知及技) 楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をすることができる。(2段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Bイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようとする。(2段階Bウ)	(知・技) 楽しく器械・器具を使つての基本的な運動ができてい る。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようとしている。	器械・器具を使つての運動① ・サーキット運動をしよう 保健 ・性の多様性LGBT (ここからわーく)	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱やミニハードルをまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ iv 高さや幅の異なる平均台を渡る ・感想発表 ・自分らしさ ・性のあり方について(4つの性)	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	12月	7	(知及技) 楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をすることができる。(2段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Bイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようとする。(2段階Bウ)	(知・技) 楽しく器械・器具を使つての基本的な運動ができてい る。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようとしている。	器械・器具を使つた運動② ・サーキット運動をしよう 保健 ・エイズデー ・プレイベートゾーン (ここからわーく)	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 iv 平均台上を歩く v 肋木昇降 ・感想発表 ・からだの特に大切なところ ・見せたりさわらせてもいい時は？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	1月	6	(知及技) 音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。(2段階Fア) (思判表力) 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Fイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。(2段階Fウ)	(知・技) 音楽に合わせて楽しく表現運動ができてい る。 (思・判・表) 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとしている。	表現運動① ・ダンスをしよう (年間を通して：体力づくりでも取り扱う) 保健 ・男女の体の違い (ここからわーく)	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表 ・男の子と女の子 ・どこが一緒にどこが違う？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

3 学 期	2月	6	(知及技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動ができてい る。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動① ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 170cm程度の的をジャンプして触る。 iii ケン・ケン・パーをする。 ・感想発表	生: 「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国: 「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数: 「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	6	(知及技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動ができてい る。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動② ・かけっこをしよう 5分間走の記録会 保健 ここからわーくまとめ	・集合 ・準備体操 ・かけっこ(記録会) I 周走ごとに教師からゴムを受け取り、周数を記録する。 スタート、ゴールを確認する。 曲が流れている間、自分のペースで最後まで走る。 教師と一緒に走る。 I 人で走る。 ・感想発表 ・1年間のまとめ	生: 「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国: 「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数: 「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・プリント ・ドリル ・理解度 ・習熟度 ・行動観察 ・iPadアプリ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	11名		「レッツ！工作ビクニック」

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。(2段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(2段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。(2段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	6	(知及び技) ①様々な形の色紙を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。(2段階共通事項(ア)) ②様々な形の色紙を使い、こいのぼりを作ることができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基にイメージを持ち、形に表すことができる。(2段階共通事項(イ) Aア(ア)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、楽しんで制作活動に取り組む。(2段階) (知及び技) ①はじき絵の技法で模様を描く制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。(2段階共通事項(ア)) ②クレヨンや絵の具などを使い、はじき絵の技法で模様を描くことができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージを持ち、模様に表すことができる。(2段階共通事項(イ) Aア(ア)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんではじき絵の技法を使った活動に取り組む。(2段階)	(知・技) ①様々な形の色紙を使った制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。 ②様々な形の色紙を使い、こいのぼりを作ることができる。 (思・判・表) 材料などを基にイメージを持ち、形に表している。 (主学) 様々な形の色紙を使い、制作活動に取り組もうとしている。 (知・技) ①はじき絵の技法での制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。 ②クレヨンや絵の具などを使い、はじき絵の技法で模様を描くことができる。 (思・判・表) 材料などを基に自分のイメージを持ち、模様に表している。 (主学) はじき絵の技法を使って、模様を描く活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～こいのぼりを作ろう～ ・描いてみよう ～クレヨン、絵の具を使って～(はじき絵)	・はさみの安全な使い方を確認する。 ・色紙に手形を取り、はさみで切る。 ・切った色紙をカラービニールにこいのぼりのウロコとしてのりで貼る。 ・画用紙にクレヨンで自分の好きな模様を描く。 ・描いた模様の上から絵の具を塗る。	国「ものの名前を学ぶ」 算「形を作ろう」
	5月	6	(知及び技) マーブルリングの技法で模様を作る活動を通して、様々な色や模様の違いに気付くことができる。(2段階共通事項(ア)) 様々な画材を使い、マーブルリングの技法で模様を作ることができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージを持ち、模様に表すことができる。(2段階共通事項(イ) Aア(ア)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんでマーブルリングの技法を使った活動に取り組む。(2段階)	(知及び技) マーブルリングの制作活動を通して、色や模様の違いに気付くことができる。 マーブルリングの技法で模様を作ることができる。 (思・判・表) 材料などを基に自分のイメージを持ち、マーブルリングの技法を使って表現している。 (主学) マーブルリングの技法を使って模様を作る活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ・マーブルリング(コースター等)	・バットに洗濯のりと水を入れる。 ・パレットや紙コップの上でアクリル絵の具の準備する。 ・洗濯のりと水が入ったバットに自分が好きな色の絵の具を垂らす。 ・竹串や爪楊枝などの先端を水面で動かして模様の上に紙をそっと置き、紙に模様をつける。	算「身近なかたち」

2 学 期	6月	6	（知及技）絵を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） 様々な画材から使いたい画材を選び、シャボン玉の絵を描くことができる。（2段階Aア（イ）） （思判表力）写真などを基にシャボン玉のイメージを持ち、絵を描くことができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）シャボン玉を絵に表す喜びを味わいながら、絵を描く活動に取り組む（2段階） （知及技）様々な色紙を使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） 様々な色紙を使い、七夕飾りを作ることができる。（2段階Aア（イ）） （思判表力）飾りの見本などを基に自分の作りたい飾りをイメージし、七夕飾りを作ることができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）つくり出す喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。（2段階）	（知・技）絵を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な画材を使って、シャボン玉を描くことができる。 （思・判・表）写真などを基にシャボン玉のイメージを持ち、絵に表している。 （主学）絵を描く活動に、楽しく取り組もうとしている。 （知・技）様々な色紙を使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な色紙を使い、七夕飾りを作ることができる。 （思・判・表）飾りの見本などを基に、作りたい七夕飾りをイメージし、形に表している。 （主学）様々な色紙を使った制作活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～シャボン玉を描こう～ ・作ってみよう （三角つなぎ、ちょうちん、天の川）	・水性フェルトペンなどで丸をたくさん描く。 ・霧吹きをかけてにじませる。 ・色紙を三角に切る。 ・色紙の角にのりを付けて、つなげるように貼る。 ・一番上に穴をあけ糸を通し、飾る。 （三角つなぎ）	国「ものの名前を学ぶ」 算「数えよう、比べよう」 「形を作ろう」
		7月	6	（知及技）作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。（2段階共通事項ア（ア）Bア（ア）） （思判表力）作品の鑑賞を通して、自分の感じたことを、発表することができる。（2段階Bア（ア）） （学・人）作品の鑑賞や作品を観て、感じたことを話し合う活動を通して、つくり出す喜びを味わう。（2段階）	（知・技）作品の鑑賞を通して、形や色の違いに気付くことができる。 （思・判・表）作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。 （主学）、作品の鑑賞や作品を見て、感じたこと話し合う活動に取り組もうとしている。	・見てみよう ・みんなの作品を鑑賞しよう	・これまで作成した自分や友達作品をお互いに見合って、そのよさや面白さを話す。 ・自分の1番好きな作品を選び、その理由を考える。 ・自分が1番好きな作品を皆の前で発表する。
	9月	7	（知及技）クリアファイルや色紙などの素材を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） クリアファイルや色紙を使い、レターラック等を作ることができる。（2段階Aア（イ）） （思判表力）材料から感じたこと、想像したこと、見たことからイメージを持ち、形に表すことができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）つくり出す喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。（2段階）	（知・技）クリアファイルや色紙などの素材を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。 クリアファイルや色紙などの素材を使い、レターラック等を作ることができる。 （思・判・表）材料などを基に自分のイメージを持ち、形に表している。 （主学）クリアファイルや色紙などの素材を使い、楽しく制作活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～敬老の日のプレゼントを作ろう～ （クリアファイルのレターラック等）	・クリアファイルを半分 に切り離す。 ・クリアファイルを上部から半分に折り、両面テープで貼り付ける。 ・周囲をテープやリボンで飾る。	国「お話をしてみよう」 算「数えよう、比べよう」 「身近なかたち」
		10月	7	（知及技）感想画を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） 様々な画材から使いたい画材を選び、感想画を描くことができる。（2段階Aア（イ）） （思判表力）絵本等の挿絵や物語の内容を基に、自分のイメージを持ち、絵に表すことができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）好きな絵本等を絵に表す喜びを味わい、感想画を描く活動に取り組む。（2段階）	（知・技）感想画を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な画材から、使いたい画材を選び、感想画を描くことができる。 （思・判・表）絵本等の挿絵や物語の内容を基に、自分のイメージを持ち、絵に表すことができる。 （主学）感想画を描く活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～絵本を見て感じたことを描こう～ （読書感想画コンクール）	・絵本の読み聞かせを見たり、聞いたりして感じたことや思ったことを言い合う。 ・自分が描きたい場面を決めて、挿絵等を参考に絵の具やクレヨンを使って絵を描く。 ・お互いの作品を観て、その様子や表し方について友人と話し合う。

11月	7	(知及技) 紙粘土から色々な形を作り出す感覚や動物マグネットを作る活動を通して、紙粘土の感触や形の違い、形が変化する様子などに気付くことができる。(2段階共通事項ア(ア)) 紙粘土の扱いに慣れ、色々な形を作ったり動物マグネットを作ることができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 紙粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージを持ち、動物マグネットを作ることができる。(2段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) 紙粘土の感触を味わい、色々な形を作り出す喜びを楽しみながら、動物マグネットを作る活動に取り組む。(2段階)	(知・技) 紙粘土から色々な形を作り出す感覚や動物マグネットを作る活動を通して、紙粘土の感触や形の違い、形が変化する様子などに気付くことができる。紙粘土の扱いに慣れ、動物マグネットを作ることができる。(思・判・表) 紙粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージを持ち、動物マグネットを表している。(主学) 紙粘土で動物マグネットを作る活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～紙粘土で動物マグネットを作ろう～ (紙粘土のマグネット)	・動物等の写真を見ながら、粘土をちぎったり、平たくしたりして自分の好きな形や動物を作る。 ・型パネル等も使って作っていく。 ・友達と自分が作った物について工夫した点を発表し合う。	国「文の構成」算「形を作ろう」
12月	7	(知及技) 紙版画の型紙を作ったり刷ったりする活動を通して、色々な紙の材質や形、色の違い、型紙と版画の関係などに気付くことができる。(2段階共通事項ア(ア)) 色々な材質の紙や用具を使い、型紙を作ったり刷ったりすることができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 紙の材質や形などを基に自分のイメージを持ち、紙版画の型紙を作ったり、刷ったりすることができる。(2段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) 材料を切ったり組み合わせたりに紙版画に表す喜びを味わいながら、紙版画を作る活動に取り組む。(2段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(2段階共通事項ア(ア)Bア(ア)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分の感じたことを発表することができる。(2段階Bア(ア)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を観て感じたことを話し合う活動を通して、つくり出す喜びを味わう。(2段階)	(知・技) 紙版画を作る活動を通して、色々な紙の材質や形、色の違い、型紙と版画の関係などに気付くことができる。型紙の作り方や刷り方を知り、紙版画を作ることができる。(思・判・表) 紙の材質や形などを基に自分のイメージを持ち、紙版画の型紙を作ったり、刷ったりしている。(主学) 紙版画を作る活動に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色の違いに気付くことができる。(思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。(主学) 作品の鑑賞や作品を見て感じたこと話し合う活動に取り組もうとしている。	・描いてみよう ～たのしくうつして～ (大好きな動物・紙版画) ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	・参考作品を見て、気付いたことを話し合う。 ・型紙を作る。 ・作った型紙を使っているいろいろな形を写す。 ・自分や友達の作品を見て、面白い所や工夫している所を話し合う。 ・これまで作成した自分や友達の作品をお互いに見合って、そのよさや面白さを話す。 ・自分の好きな作品を選び、その理由を考える。 ・自分が好きな作品について感想発表する。	国「お話をしてみよう」算「身近なカタチ」
1月	6	(知及技) 段ボールやビー玉などを使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。(2段階共通事項ア(ア)) 段ボールやビー玉などを使い、コマを作ることができる。(2段階Aア(イ)) (思判表力) 材料を基にイメージを持ち、形に表すことができる。(2段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、制作活動に楽しんで取り組む。(2段階)	(知・技) 段ボールやビー玉などを使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。段ボールやビー玉などを使い、コマを作ることができる。(思・判・表) 材料を基にイメージを持ち、形に表している。(主学) 段ボールやビー玉などを使った制作活動に、教師の支援を受け、楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～段ボールを使って～ (ビー玉でコマをつくらう)	・段ボールを好きな形に切り、アルミホイルで包む。 ・アルミホイルに油性フェルトペンで模様を描く。 ・裏面の中央にビー玉を置き、セロハンテープで留める。	生「見えないものの仕組みを知ろう」算「形を作ろう」・

3 学 期	2月	6	（知及技）箱に絵を描いたり、写真やイラストを貼ったりする活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） 箱に絵を描いたり、写真やイラスト、折紙などを貼ったりして、思い出箱を作ることができる。（2段階ア（イ）） （思判表力）色々な材料などを基にイメージを持ち、形に表すことができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）作り出す喜びを味わいながら、思い出箱を作る活動に取り組む。（2段階）	（知・技）箱に絵を描いたり、写真やイラストを貼ったりする活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。 箱に絵を描いたり、写真やイラスト、折紙などを貼ったりして思い出箱を作ることができる。 （思・判・表）色々な材料を基にイメージを持ち、形に表している。 （主学）様々な材料を使い、思い出箱を作る活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～絵を描いたり紙を貼ったりして～ （思い出箱）	・箱に色紙を貼る。 ・自分の好きな絵を描いたり、写真を選んで箱に貼る。 ・折紙などで飾りを作り、箱に貼る。	生「見えないものの仕組みを知ろう」 算「数えよう、比べよう」 「形を作ろう」
	3月	6	（知及技）イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作る中で、色々な形に気付くことができる。（2段階共通事項ア（ア）） イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりして、パズルを作ることができる。（2段階Aア（イ）） （思判表力）材料などを基に自分のイメージを持ち、パズルを作ることができる。（2段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）作り出す喜びを味わいながら、パズルを作る活動に取り組む。（2段階）	（知・技）イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作る中で色々な形に気付くことができる。 イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作ることができる。 （思・判・表）材料などを基に自分のイメージを持ち、パズルを作ることができる。 （主学）作り出す喜びを味わいながら、パズルを作る活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう（パズル） ～いろいろな材料を使って～	・写真を撮る。 ・自分の好きな絵や写真を選ぶ。（A5サイズ） ・絵、写真をのりで台紙に貼り上下左右2cmの幅をとって切る。 ・パズルの土台は絵を貼った台紙より0.5mmくらい大きめに切る。 ・絵を貼った台紙の余白2cmを切り、土台に型枠のように貼る。 ・絵を4分割する。 ・ブッカーで表面を補強する。	国「絵から想像して話してみよう」 算「身近なカタチ」 特「1年間を振り返ろう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・学習に対する取組姿勢 ・発表 ・ワークシート ・学習課題の処理意欲・態度 ・プリント ・ドリル ・理解度 ・iPadアプリ ・習熟度 ・その他教科に応じた評価方法 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	11名		

年間目標			教育活動全体を通して、基本的な生活習慣の形成を図るとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育てる。			
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	3	・学校生活について考えることをとおして、学校や学級・友達に関するさまざまなことに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする気持ちを持つ。	【Cよりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね	・よりよい学校生活や集団生活を送るために必要なことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「見通しのある毎日の生活」 国 「がっこうだいすき」 特 「3年生になって」
	5月	3	・相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいか考えることをとおして、挨拶の大切さに気づき、すすんで気持ちのよい挨拶をしようとする意欲をもつ。 ・教師と一緒に、父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする気持ちをもつ。	【C家庭生活の充実】 ・家族	・挨拶をする時に大切なことに気づき、それぞれの場面でのふるまい方について、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・教師と一緒に、母の日、父の日を通して、父母に対する感謝の気持ちを持つ。家で進んでお手伝いをする。	生 「マナーを身につけよう」 「手伝い・仕事」 図 「母の日、父の日プレゼント」
	6月	4	・どうすればよかったかについて考えることをとおして、わがままや自分勝手な行動をしないで、思慮深く考え、節度ある生活を送ろうとする気持ちをもつ。 ・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする気持ちをもつ。	【A節度、節制】 ・わがままをしない 【C家庭生活の充実】 ・家族	・自分も周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・教師と一緒に、母の日、父の日を通して、父母に対する感謝の気持ちを持つ。家で進んでお手伝いをする。	生 「手伝い・仕事」 「きまりを守ろう」 図 「笑ったお父さんの顔」 特 「一年間を振り返ろう」
	7月	2	・うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする気持ちをもつ。 ・自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、それらをすすんで行おうとする意欲をもつ。 ・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	【A正直、誠実】 ・いつも素直に 【A希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事 【D生命の尊さ】 ・生命がもつ力	・うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・やるべき仕事や勉強の大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・赤ちゃんの模型を抱っこしたり、赤ちゃんのお世話の様子を動画視聴したり、家族からの誕生時の話を聞いたりし、命の大切さ、あたたかみを感じる。	生 「人のかかわり」 国 「どんな気持ちかな」 生 「友達と一緒にやってみよう」 「友達と協力して係活動しよう」 特 「誕生会」
2 学 期	9月	3	・友達に対する理解を深め、友達を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・みんなで使う物の大切さに気づき、約束やきまりを守るよさや、みんなが使う物を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとする意欲をもつ。	【B友情、信頼】 ・友達と仲よく 【C規則の尊重】 ・きまりを守って 【B礼儀】 ・友だち関係 (ここからわーく)	・登場人物を通して、友達と仲よくすることに対する考えを深め、友達の大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・約束やきまりを守って、みんなが使う物を大切にすることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・相手の気持ちを考えよう ・ふわふわ言葉とちくちく言葉 ・ケンカしても仲直り	生 「いろいろな遊び」 「人のかかわり」
	10月	4	・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・働くことのよさを感じて、みんなのために働くこととする意欲をもつ。	【D生命の尊さ】 ・生命がもつ力 ・命の大切さ (ここからわーく) 【C公共の尊重】 ・働くことのよさ	・どんな小さな生き物でも、生きる力が備わっていることに気づき、生命を大切にすることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。実際に動物に触れたりし、生命のあたたかさを感じる。 ・教師と一緒に、自分の役割や担当が分かり、進んで行う。給食当番、日直活動、清掃等、自分の役割を果たす。	生 「公共施設を知ろう」 「友達と協力して係活動しよう」 特 「平和学習」
	11月	4	・身近な自然について考えることをとおして、自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ動植物を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・日頃お世話になっている人々に感謝しようとする気持ちをもつ。	【D自然愛護】 ・自然の中で 【B感謝】 ・日頃お世話になっている人	・自然とともに生きていることに気づき、自然に親しむことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 図 「自然の物を使って」 生 「安全のためにきまりを守ろう」

	12月	3	・いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけようとする気持ちをもつ。 ・優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする意欲をもつ。 ・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで 【B 親切、思いやり】 ・温かい心で親切に 【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力	・よいことと悪いことの区別をし、状況に合わせた行動をしようとする ことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・自分の生活経験をもとに、思いやりの心を持ち、親切に行動することの大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・赤ちゃんの模型を抱っこしたり、赤ちゃんのお世話の様子を動画視聴したり、家族からの誕生時の話を聞いたりし、命の大切さ、あたたかみを感じる。	国 「どんなきもちかな」 特 「誕生会」
	1月	3	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲をもつ。	【A 個性の伸長】 ・よいところを見つけよう ・すきなものを見つけよう	・友達との関わりの中で、自分の特徴やよさ確かめ、伸ばそう ことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・自分の好きなことや得意なことを続けていくことの大切さを理解し、将来の夢や長所を伸ばすことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	特 「学年紹介」
3 学 期	2月	4	・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲をもつ。 ・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉 【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力 ・私の誕生 （ここからわーく）	・相手に言われて嬉しい言葉のよさに気づき、言葉の大切さについて教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・赤ちゃんの模型を抱っこしたり、赤ちゃんのお世話の様子を動画視聴したり、家族からの誕生時の話を聞いたりし、命の大切さ、あたたかみを感じる。 ・大切な存在 ・心地よい肌や心のふれあい	国 「どんなきもちかな」 特 「誕生会」
	3月	2	・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲をもつ。	【C 勤労・公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・働くことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「人のかかわり」 国 「どんなきもちかな」
留意点 引継等						
評価方法	・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・行動観察 ・記録 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・プリント ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	11名		Let's Try!

			(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4 ・ 5	7	(知及技) 簡単な挨拶の言い方や答え方を知り、表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして外国語の音声やリズムに親しみながら表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、簡単なコミュニケーションを図る。	(知・技) 外国語活動時や他教科、学校生活全般を通じて、英語の挨拶表現を活用しようとしている。 (思・判・表) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして表現している。 (主学) ジェスチャーや表情等を交えてコミュニケーションを取ろうとしている。	あいさつをしよう Hello. Good morning. Good afternoon. Good bye. ごきげんいかが？ How are you? I'm fine/hungry, sleepy, tired.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・朝、昼、夜などの絵カードを用い、カードをめくって絵の時間にふさわしい挨拶を言う。 ・表情が描かれた絵カードを並べ、教師同士の「How are you?」「I'm ~.」のやりとりを表しているカードを選ぶ。 ③ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝えよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	6 ・ 7	5	(知及技) 1～10までの数字を使った歌やゲームをしながら英語での言い方に慣れ親しむ。 (思判表力) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして外国語の音声やリズムに親しみながら表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、簡単なコミュニケーションを図る。	(知・技) 1～10までの数字を英語で意欲的に言いながら、活動に参加している。 (思・判・表) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして表現している。 (主学) ジェスチャーや表情等を交えてコミュニケーションを取ろうとしている。	かずであそぼう one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Ten little monkeys」 ②アクティビティ ・「ナンバーバスケット」フルーツバスケットゲームを数字で行う。 ・3×3のマスの中に好きな数字を入れてビンゴゲームをする。 ③ダンス 「Seven steps」	生「人との関わり」 算「10までのかずかぞえましょう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
2 学期	9 ・ 10	6	(知及技) 天気、曜日を表す表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして外国語の音声やリズムに親しみながら表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、簡単なコミュニケーションを図る。	(知・技) 意欲的に曜日や天気についての英語を言っている。 (思・判・表) 外国語の歌を歌ったりダンスをしたりして表現している。 (主学) ジェスチャーや表情等を交えてコミュニケーションを取ろうとしている。	おてんき・ようびはなあに？ Sunny, rainy, cloudy, snowy, windy Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 ・「Sunday Monday Tuesday 曜日の歌」 ②アクティビティ ・お天気キャスターに扮して一週間の天気予報を発表する。 ③ダンス 「halloween songs」	生「人との関わり」 国「日常生活の言葉」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」

ナ 期	11 ・ 12	8	(知及技) 色を使ったチャ ンツやゲームをしながら英 語の音声や表現に慣れ親し む。 (思判表力) 外国語の歌を 歌ったりダンスをしたりし て外国語の音声やリズムに 親しみながら表現する。 (学・人) 外国語に興味を もち、簡単なコミュニケー ションを図る。	(知・技) 色について英語 で意欲的に言いながら、積 極的に活動している。 (思・判・表) 外国語の歌 を歌ったりダンスをしたり して表現している。 (主学) ジェスチャーや表 情等を交えてコミュニケー ションを取ろうとしてい る。	いろであそぼう red, blue, yellow, whi te, black, green, oran ge, pink, purple	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ・「Jingle Bell」 ②アクティビティ ・教師が色の名前を英語 で言い、教室内の言われ た色の物に児童がタッチ する。 ・色カルタ取りゲーム ③ダンス 「Santa Claus Is Coming to Town」	生「人との関わり」 国「日常生活の言 葉」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
3 学 期	1 ・ 2 ・ 3	9	(知及技) 英語を聞いた り、言ったりしながら身体 をたくさん動かす。 (思判表力) 外国語の歌を 歌ったりダンスをしたりし て外国語の音声やリズムに 親しみながら表現する。 (学・人) 外国語に興味を もち、簡単なコミュニケー ションを図る。	(知・技) 英語を聞いた り、言ったりしながら身体 を動かしている。 (思・判・表) 外国語の歌 を歌ったりダンスをしたり して表現している。 (主学) ジェスチャーや表 情等を交えてコミュニケー ションを取ろうとしてい る。	うごいてみよう stand up sit down Touch your～ . (Head, eye, nose, mou se, ear, shoulder, kne e, toe)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「stand up sit down立って座って」 ・「Simon says song」 ②アクティビティ ・サイモンセズゲーム ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェス チャーをしたらアウト ③ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 「いろいろな遊び」 国「日常生活の言 葉」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・行動観察 ・プリント					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	11名		

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようになる。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を気付くことができるようにする。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	4	(知及技) 自分の良さを見つけ、今でできることに頑張っており、今でできることに頑張っており、今でできることに頑張っている。 (思判表力) 3年生の学習や生活を知り、自分のがんばりたいことを選んだり考えたりできる。 (学・人) 進級の喜びを感じ、新しい先生や友達とともにこれからの生活への意欲を持つ。 (知及技) 手洗いやマスク着用の大切さについて理解できる。 (思判表力) 自分の手洗いやマスク着用に振り返り、自分の課題に合った具体的なめあてを決めることができる。 (主学) 自分のめあてを意識し、実践に取り組むことができる。 (知及技) 身体測定を通して体や心が成長に気づくことができる。 (思判表力) 昨年の身長・体重の測定と比べて、自分の成長を調べることができる。 (知及技) 図書室の利用の仕方を知る。 (思判表力) 図書室をみんなが気持ちよく利用するにはどうしたらよいか考えたり、友達の意見を聞いたりすることができる。 (学・人) 図書室を身近に感じ、読書に親しもうという意欲を持つ。	(知・技) 自分の良さを見つけ、今でできることに頑張っており、今でできることに頑張っており、今でできることに頑張っている。 (思・判・表) 3年生になって自分のめあてやがんばりたいことを考えたり、選択肢から選んだりしている。 (主学) 進級の喜びを感じ、新しい先生や友達とともにこれからの生活へ意欲をもって取り組もうとしている。 (知・技) 手洗いやマスク着用の意義を理解し、正しい手洗いやマスク着用できている。 (思・判・表) 自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。 (主学) 自分のめあてを意識し、実践に取り組もうとしている。 (知・技) 身体測定を通して体や心が成長していることに気づいている。 (思・判・表) 昨年の身長・体重の測定記録と比べ、自分の成長を調べている。 (知・技) 図書室の利用の仕方を知っている。 (思・判・表) 図書室をみんなが気持ちよく利用するにはどうしたらよいか考えたり、友達の意見を聞いたりしている。 (主学) 図書室を身近に感じ、読書に親しもうという意欲を持っている。	○3年生になって ○感染症を予防しよう ○大きくなったね、わたしの体(ここからわーく) ○大好き、図書室	・話し合いの進め方の確認をする。 ・学年、学級開き ・学級目標を決める。 ・当番や係活動を決める。 ・1学期の個人目標を決める。 ・自分の手洗いやマスク着用の様子をビデオなどで振り返る。 ・タイミングやポイントを押さえた効果的な手洗い方法やマスク着用について確認し、実践する。 ・身体測定 ・体の名前やプライベートゾーンについて知る。 ・学校図書館オリエンテーション ・司書の話聞き、図書室の使い方や決まりについて話を聞く。	○国 A・聞く・話す B・書く 「学校のことを話そう」 ○道 「学校は楽しいね」 ○体 「うがい・手洗い」 ○国 「ものの名前を学ぶ」 ○生 「社会の仕組みと公共施設」
1学期	5月	3	(知及技) 歯の働きや正しい歯磨きの仕方を知り、歯を大切にしようという気持ちを持つことができる。 (思・判・表) 歯を大切にするための方法について話し合い、自分に合っためあてを決めることができる。 (知及技) 学年の良さや得意なことを考え、それを紹介する方法を身に付けることができる。 (思判表力) 好きなことや得意なことを話し合い、意見をまとめて発表したいことを決めることができる。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、自分の役割について理解することができる。 (思判表力) 交流会に向けて見通しを持ち、互いに楽しもうという意欲を持つことができる。	(知・技) 歯の働きや歯磨きの大切さに気づき、正しい歯磨きの仕方を理解している。 (思・判・表) 歯を大切にするための方法について話し合い、自分に合っためあてを決めている。 (知・技) 学年の良さや得意なことを考え、それを紹介する方法を身に付けている。 (思・判・表) 好きなことや得意なことを考え、発表したいことを決めている。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、自分の役割について理解している。 (思・判・表) 交流会の内容や準備などについて考え、楽しんで実践している。	○歯を大切にしよう ○学年紹介 ○交流会をしよう①	・歯の働きや口腔衛生の大切さについて話を聞く。 ・自分の歯磨きを振り返り、正しい歯磨きの仕方を確認する。 ・話し合いの進め方を確認する。 ・学年紹介に向けて、自己紹介の仕方を考えたり、歌やダンスを披露したりすることができる。 ・事前学習を通して、交流学習への見通しを持つ。 ・自己紹介の仕方について話し合う。	○生 A基本的な生活習慣 ○道 「よいところをみつめよう」 ○道 B・礼儀 「友達と仲良く」

6月	2	(知及技) 会の意義を理解し、話し合いの仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 経験したことを思い出し、友達と一緒に遊べる活動を考えることができる。 (学・人) 会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとする。 (知及技) 沖縄戦や慰霊の日の意味について知ることができる。 (思判表力) 平和や命の大切さについて考えることができる。 (学・人) 身近な生活の中にある平和について考えようとする。	(知・技) 会の意義を理解し、話し合いの仕方を身に付けている。 (思・判・表) 経験したことを思い出し、友達と一緒に遊べる活動を考えている。 (主学) 会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとしている。 (知・技) 沖縄戦や慰霊の日の意味について理解している。 (思・判・表) 沖縄戦の絵や読み聞かせから気づいたことを話し合っている。 (主学) 身近な生活の中にある平和について考えようとしている。	○なかよくならう ○平和学習	・話し合いの進め方の確認をする。 ・遊び大会など友達と一緒に遊べる活動について話し合う。 ・会の準備や司会進行など係分担し、協力して会をすすめる。 ・沖縄戦や平和についての絵本等の読み聞かせを聞く。 ・友達と日常の中で平和に感じていることを話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く 「学校は楽しいね」 ○道 D・生命の尊さ 「うれしくなる言葉」 ○生 エ・安全 「安全のためにきまりを守ろう」
7月	3	(知及技) 他学年の良さに気づくことができる。 (思判表力) 発表を見て、気づいたことや良かった点について話し合うことができる。 (学・人) 他学年のいいところをさがし、異学年の交流を楽しみにすることができる。 (知及技) 規則正しい生活の良さを知り、夏休みの過ごし方に生かすことができる。 (思判表力) 自分の成長について気づいたことを発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学・人) 自分の目標や友達のがんばった様子を互いに振り返ることができる。	(知・技) 他学年の良さに気づくことができる。 (思・判・表) 発表を見て、気づいたことや良かった点について話し合っている。 (主学) 他学年のよさをさがし、異学年交流を楽しみにしている。 (知・技) 1学期のめあてを振り返り、自分のがんばりが成長につながったことを理解している。 (思・判・表) 自分の成長について気づいたことを発表したり、友達の発表を聞いたりしている。 (主学) 自分の目標や友達のがんばった様子を互いに振り返ろうとしている。	○1学期を振り返ろう ○学年紹介 ○誕生会	・好きな給食の献立について話し合う。 ・栄養士の話聞く。 ・好き嫌いなく給食を食べるための工夫を話し合い、自分のめあてを決める。 ・話し合いの進め方の確認をする。 ・キャリアパスポートの活用 ・学期初めにたてためあてを振り返る。 ・規則正しい生活をおくるためにできることを話し合ったり、安全についての約束を確認したりする。 ・他学年紹介のビデオを見る ・ダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す 「学校のことを話そう」 ○国 B・書く「くわしく話そう」 ○道 D生命の尊さ 「生命がもつ力」
9月	2	(知及技) 2学期の学習内容について話を聞き、見通しを持つことができる。 (思判表力) 2学期の学習・行事などを知り、自分の頑張りたいことを考えることができる。 (学・人) 他学年の良さをさがし、異学年交流を楽しみにできる。	(知・技) 自分のめあてを達成するために頑張ることを理解している。 (思・判・表) 1学期を踏まえて、頑張りたいことを考えている。 (主学) 新しい学期に向け、自分が決めためあてに意欲をもって取り組もうとしている。	○目標をたてよう ○学年紹介	・話し合いの進め方の確認をする。 ・2学期頑張ろう会で2学期の行事や学習についての話を聞く。 ・自分のめあてを考え、発表したり、友達の発表を聞いたりする。 ・他学年紹介のビデオを見る ・ダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く 「くわしく話そう」 ○道 B・礼儀 「友達と仲良く」
10月	4	(知及技) 話し合いの仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 経験したことを思い出し、教師と一緒に友達と一緒に遊べる活動を考える。 (学・人) 教師と一緒に、会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組む。 (知及技) 交流会の楽しさを知り、自分の役割について理解することができる。 (思判表力) 交流会に向けて見通しを持ち、互いに楽しもうという意欲を持つことができる。 (学・人) 会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとする。	(知・技) 話し合いの仕方を身に付けている。 (思・判・表) 経験したことを思い出し、教師と一緒に友達と一緒に遊べる活動を考えている。 (主学) 教師と一緒に会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとしている。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、自分の役割について理解している。 (思・判・表) 交流会の内容や準備などについて考え、楽しんで実践している。 (主学) 会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとしている。	○交流会をしよう② ○おばけやしきであそぼう(ハロウィンパーティー) ○自分の体を知る(ここからわーく)	・事前学習を通して、交流学習への見通しを持つ。 ・自己紹介の仕方について話し合う。 ・話し合いの進め方の確認をする。 ・どんなおばけやしきにするか友達と一緒に遊べる活動について話し合う。 ・会の準備や司会進行など係分担し、協力して会をすすめる。 ・からだの名称 ・からだの観察 ・自分のからだに触れる	○道 B・礼儀 「友達と仲良く」

2 学 期	11月	4	(知及技) 自分の体の健康と食べ物の栄養との簡単な関わりについて理解できる。 (思・判・表) これまでの給食の食べ方を振り返り、自分に合った食べ方を考える。 (知及技) 読書の楽しさを知り、伝え合うための方法を身に付ける。 (思判表力) 読書へ関心を持ち、読み聞かせを楽しんだり、友達に紹介したりできる。 (知及技) 地震が起きた時、避難の仕方や身の守り方を理解できる。 (思判表力) 自分ができてる事を考えて発表したり、選択肢から選ぶことができる。	(知・技) 自分の体の健康と食べ物の栄養との簡単な関わりについて理解している。 (思・判・表) これまでの給食の食べ方を振り返り、自分に合った食べ方を考えている。 (知・技) 読書の楽しさを知り、伝え合うための方法を身に付けている。 (思・判・表) 読書へ関心を持ち、読み聞かせを楽しんだり、友達に紹介したりしている。 (知・技) 地震が起きた時、避難の仕方や身の守り方を理解している。 (思・判・表) 自分ができてる事を考えて発表したり、選択肢から選んだりしている。	○バランスのよい食事 ○本の世界を楽しもう ○学年紹介 ○性の多様性（ここからわーく） ○地震津波火災避難訓練	・好きな給食の献立を話し合う。 ・栄養士の話聞く。 ・好きな本を読んだり、絵本の読み聞かせを聞いたりする。 ・好きな本を友達に紹介する方法を話し合う。 ・訓練を振り返り、どのように避難したら良いか、気づいたことを発表する。 ・ビデオの活用 ・他学年紹介のビデオを見る ・ダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。 ・LGBT ・自分らしさ ・性のあり方について	○国 A・聞く・話す B・書く 「仲間集め」 ○国 A・聞く・話す 「お話を演じてみよう」 ○生 イ・安全 「安全のためにきまりを守ろう」
	12月	4	(知及技) 2学期のめあてを振り返り、自分のがんばりが成長につながったことを理解できる。 (思判表力) 学期始めにたてためあてを振り返り、発表することができる。 (学・人) 自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持って取り組むことができる。 (知及技) これまでの経験を振り返り、友達と楽しめる活動を考え、計画をたてることができる。 (思判表力) 話し合っ決めてたことについて、協力し合って実践できる。 (主学) お楽しみ会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組む。 (知及技) 学習発表会に向けて見通しを持ち、自分の役割が分かるようにする。 (思判表力) 学習発表会に向けて期待感をもち、自分のめあてをきめて取り組むことができるようにする。 (主学) 学習発表会での発表について見通しを持ったり振り返ったりし、集団活動に取り組もうとしている。	(知・技) 2学期のめあてを振り返り、自分のがんばりが成長につながったことを理解している。 (思・判・表) 学期始めにたてためあてを振り返り、発表している。 (主学) 自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持って取り組んでいる。 (知・技) これまでの経験をもとにお楽しみ会や誕生会の簡単な役割分担や準備の仕方を身に付けている。 (思・判・表) 話し合っ決めてたことについて、協力し合って実践している。 (主学) お楽しみ会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。 (知・技) 学習発表会に向けて見通しを持ち、自分の役割について理解している。 (思・判・表) 学習発表会に向けて期待感をもち、自分のめあてをきめている。 (主学) 学習発表会での発表について見通しを持ったり振り返ったりし、集団活動に取り組もうとしている。	○2学期を振り返ろう ○お楽しみ会をしよう ○エイズデー ○プレイベートゾーン（ここからわーく） ○誕生会 ○学習発表会	・話し合いの進め方の確認をする。 ・自分のたてためあてを振り返ったり友達のがんばった様子を聞いたりする。キャリアパスポート活用。 ・冬休みのしおりを読み合わせ、規則正しい生活について話し合う。 ・これまでの経験を振り返り、お楽しみ会や誕生会の内容や準備について話し合う。 ・係分担をして準備や進行などを行う。 ・からだの特に大切なところ ・見せたりさわらせてもいい時は？	○国 A・聞く・話す B・書く 「くわしく話そう」 ○道 「学校は楽しいね」 ○道 D 生命の尊さ 「生命がもつ力」
	1月	3	(知及技) 3学期の学習や行事について知り、見通しをもつことができる。 (思判表力) 新しい年に向けて頑張りたいことを考えることができる。 (学・人) 新しい学期に向け、自分が決めためあてに意欲をもって取り組むことができる。	(知・技) 自分のめあてを達成するために頑張ることを理解している。 (思・判・表) 新しい年に向けて頑張りたいことを考えている。 (主学) 新しい学期に向け、自分が決めためあてに意欲をもって取り組もうとしている。	○3学期頑張ろう会 ○学年紹介	・話し合いの進め方の確認をする。 ・3学期の行事や学習についての話を聞く。 ・3学期のめあてを考えたり、選択肢の中から選んだりして発表する。 ・他学年紹介のビデオを見る ・ダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「くわしく話そう」 ○生 「社会の仕組みと公共施設」 ○生 エ・安全 「安全のためのきまりを守ろう」 ○音 「身振りをつけてみんなて歌おう」

3 学 期	2月	2	(知及技) 児童会の活動や選挙・投票の仕方について理解する。 (思判表力) 児童会について知り、教師と一緒に異学年児童と協力しながら選挙や投票に関わることができる。 (学・人) 児童会の活動について関心を持ち、教師と一緒に積極的に関わることができる。 (知及技) 会の準備や役割分担、進行を考え、協力して運営することができる。 (思判表力) みんなで体を動かしたりして楽しめる遊びを、話し合うことができる。 (学・人) 遊び大会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりして取り組むことができる。	(知・技) 児童会の活動や選挙・投票の仕方について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に児童会役員になってやりたいことを考えたり、友達の意見を聞いて役員を選んだりしている。 (主学) 児童会の活動について関心を持ち、教師と一緒に関わろうとしている。 (知・技) これまでの経験をもとに簡単な自分の役割や準備の仕方を理解している。 (思・判・表) 話し合っで決めたことについて、実践している。 (主学) 遊び大会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりして取り組もうとしている。	○児童会役員引き継ぎ式・任命式 ○遊び大会をしよう	・児童会活動について話を聞く。 ・児童会選挙で自ら立候補したり、頑張る人に応援したりする。 ・話し合いの進め方の確認をする。 ・どんな遊び大会にしたいか意見を出し合い、話し合う。 ・会の計画、役割分担などの準備や進行を協力して行う。	○道 「学校は楽しいね」 ○音 「身振りをつけてみんなて歌おう」
	3月	4	(知及技) 友達と協力して、みんなが楽しめる会を計画、準備、実践できる。 (思判表力) 話し合っで決めたことについて、実践することができる。 (学・人) 話し合ったことをもとに、みんなで協力し、簡単な準備に取り組む。 (知・技) 自分の頑張りを振り返ることができる。 (思判表力) 一年間の自分の成長を振り返り、気づいたことを発表できる。 (学・人) 振り返ることで自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持つ。 (知・技) 他学年の良さに気づくことができる。 (思判表力) 発表を見て、気づいたことについて話したり、友達の発表を聞いたりする。 (学・人) 他学年に関心を持ち、交流を楽しむ。	(知・技) 自分の簡単な役割や準備することを理解している。 (思・判・表) 話し合っで決めたことについて、実践している。 (主学) お別れ会や誕生会への見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。 (知・技) 自分の頑張りを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 一年間の自分の成長を振り返り、自分の頑張りを発表している。 (主学) 自分の頑張りに気づいて、来年度に向けての期待感を持っている。 (知・技) 他学年の良さに気づこうとしている。 (思・判・表) 発表を見て、気づいたことについて話したり、友達の発表を聞いたりしている。 (主学) 他学年のよさを見つけ、異学年交流を楽しみにしている。	○お別れ会をしよう。 ○学年紹介 ○1年間を振り返ろう ○誕生会	・話し合いの進め方の確認をする。 ・お別れ会の内容について話し合う。 ・役割分担し、協力しながら準備・進行を行う。 ・ビデオや写真等で1年間を振り返る。 ・個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・1年間で頑張ったことを発表する。 ・他学年紹介のビデオを見る ・ダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○道 B感謝 「日頃お世話になっている人」 ○道 A個性・伸長 「よいところをみつけよう」 ○道 D生命の尊さ 「生命がもつ力」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・学習に対する取組姿勢 ・学習課題の処理意欲や態度 ・理解度 ・行動観察 ・記録 ・発言や発表 ・ワークシート ・その他教科に応じた評価方法					

令和8年 小学部 3年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画（シラバス）

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
315	11人		せいかつ☆ せいかつ☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	26	(知及び技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。【ウー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。【ウー(ア)】 (学・人) 日課に沿って行動しようとする。	(知・技) ・日常生活の日課、予定が分かっている。 (思・判・表) ・教師の支援を受けながらおおよその予定を見通しを持って行動している。 (主学) 教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。	・日課・予定 絵や写真 (年間を通して)	・教師の言葉掛けを聞いたり、予定の絵や写真などを見たりして、次に何をすることがわかり、できるだけ一人で日課に沿って行動する。 明日の予定や身近な予定について知る。	国「説明文を読もう」 算「しらべよう」
			(知及び技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。 【ア-(イ)】 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。【ア-(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとする。	(知・技) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣に慣れる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら日常生活に役立てようとする。 (主学) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしている。	・基本的生活習慣(年間を通して) 用便(ここからわーく)、清潔、身の回りの整理、身なり	・正しい排泄の方法、和式トイレ・洋式トイレの使い方 ・教師と一緒に歯磨きや洗面をする。 ・自分の帽子、衣服、鞆などを決められた場所に置く。 ・自分の脱いだ履き物をそろえる。 ・簡単な衣服の着脱をする。 ・脱いだ衣服を畳む。	
	5月	32	(知及び技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。【サー(イ)】 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	・生命・自然 自然との触れ合い(年間を通して)	・木の実や落ち葉、石や貝殻等、拾ったものを使って遊ぶ。 ・身近にいる昆虫や、魚、貝等を見たり採ったりする。 ・蚊やハエ等の害虫に関心をもつ。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	6月	32	(知及び技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。【オー(イ)】 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをする。【オー(ア)】 (学・人) 教師や身の回りの人に気付き、関わろうとする。	(知・技) 身近な人との簡単な応対の仕方を理解している。 (思・判・表) 自分との関わりが分かり、教師の支援を受けながら考えて簡単な応対などをしようとしている。 (主学) 教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。	・人との関わり 自分自身と家族 身近な人との関わり (年間を通して)	・自分や家族の名前を言う。 ・担任の教師や友達等、身近な人の名前を言う。 ・身近な人に自分から「おはよう」「さようなら」等のあいさつをする。 ・聞かされた、見たことや聞いたこと、遊んだことを話そうとする。 ・促されて、友達におもちゃや学用品を貸す。 ・促されて、友達の手助けをする。 ・友達から借りた物は、丁寧に扱って返す。 ・手伝ってもらって年賀状などを書く。	国「電話の相手と話をしよう」

1 学 期	7月	26	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。【イー(イ)】 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。【イー(ア)】 (学・人) 危険に気づき、安全な行動についての学習に取り組もうとする。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全について身に付けてようとしている。	・安全 危険防止、交通安全 (年間を通して) ここからわーく(自分の身を守る)	・物を投げたり、高いところへ登ったりするなど、危険な遊びをしない。 ・ガスの栓、ライター、刃物などの危険な物にむやみに触れない。 ・知らない人についていかない。 ・道路を歩くときは、自転車や自動車に気を付ける。 ・道路を何人かて歩くときは、横に並んだり、ふざけたりしない。 ・道路を横断するときは、左右を確かめ、手を上げて渡る。 ・道路を横断するときは、横断歩道や歩道橋を渡る。 ・道路へ急に飛び出さない。 ・生命の安全教育(ここからわーく) ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	
			(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。【サー(イ)】 (思表判等) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しようとしていたりして取り組もうとしている。	・生命・自然 動物の飼育・植物の栽培(年間を通して)	・身近な小動物をかわいがり、生き物への興味や関心をもつ。 ・草花の種を蒔いたり、球根等を植えて育てる。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
2 学 期	9月	32	(知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。【エー(イ)】 (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。【エー(ア)】 (学・人) きまりに気付き、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとする。	(知・技) 身の回りの遊びや遊び方に関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りの遊びに気付き、順番を守って教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学) きまりに気付き、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしている。	・遊び いろいろな遊び、遊具の後片付け(年間を通して)	・簡単なルールのある遊びをする。 ・順番や交代の意味が分かり、わがままを言わないで遊ぶ。 ・簡単な遊具で遊ぶ。 ・遊具等の後片付けをする。	
			(知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。【オー(イ)】 (思表判等) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをする。【オー(ア)】 (学・人) 教師や身の回りの人に気付き、関わろうとする。	(知・技) 身近な人との簡単な対応の仕方を理解している。 (思・判・表) 自分との関わりが分かり、教師の支援を受けながら考えて簡単な対応などをしようとしている。 (主学) 教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。	・人との関わり 電話や来客の取次ぎ、気持ちを伝える応対(年間を通して)	・人の来訪を教師に告げる。 ・教師の援助を受けて、適切な場面で「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。	国「電話の相手と話しよう」
	10月	32	(知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつことができる【ク(イ)】 (思判表力) 身の回りの生活の中で教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。【ク(ア)】 (学・人) 金銭に関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を理解している。 (思・判・表) 身近な生活の中で、金銭の価値や必要性に気づいている。 (主学) 金銭の扱い方に関心をよせ、金銭を扱おうとしている。	・金銭の扱い 金銭の扱い、買い物(年間を通して)	・いろいろな種類の硬貨があることを知る。 ・お店の人にお金を渡したり、お金を財布に入れたりする。 ・「これ、ください」等、買い物に必要な言葉を知る。 ・品物を選んでレジまで持っていく、お店の人にお金を渡したり、品物を袋に入れたりする。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	

2 学 期	11月	32	(知及技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。【キー(イ)】 (思判表力等) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする ことができる。【キー(ア)】 (学・人) 日常生活の手伝いや仕事に関心を持ち、取り組もうとする。	(知・技) 簡単な手伝いや仕事について分かっている。 (思・判・表) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学) 教師の支援を受けながら考えて日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。	・手伝いや仕事 手伝い、整理整頓、戸締り、そうじ、後片付け(年間を通して)	・学級で配りものの手伝いをする。 ・他の教室へ、物を届けたり、取りに行ったりする。 ・仕事に使う簡単な道具や器具の扱いに慣れる。 ・机やロッカーなどの中を整理する。 ・窓の開閉等の手伝いをする。 ・ゴミを拾ったり、ゴミ箱のゴミを捨てに行ったりする。 ・簡単な掃除をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
	12月	26	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとする ことができる。【ケー(ア)】 (学・人) きまりに気付き、自ら行動を調整しようとする。 (知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー(イ)】 (思判表力等) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えよう とすることができる。【コー(ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 簡単なきまりについて関心を持っている。 (思・判・表) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりに従って行動しようとしている。 (知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師の支援を受けながらみんなに伝えている。 (主学) 教師と一緒に公共施設を利用しようとしている。	・きまり 自分の物と他者の物の区別、学校のきまり(年間を通して) ・社会の仕組みと公共施設 いろいろな店、公共施設の利用	・自他の物を区別する。 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 ・学校の図書館で借りた本や運動用具等は、必ず返却する。 ・決められた場所で靴を履き替える。 ・廊下を歩くときは、右側を歩く。 ・集会や校外学習等の時は、指示に従って行動する。 ・登校時刻や下校時刻等を知り、守る。 ・近隣にある店に関心をもつ。 ・いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 ・公園や図書館、美術館等の身近な公共施設を利用する。 ※校外学習を通して、実際の場面で指導する機会を設ける。	
3 学 期	1月	26	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【サー(イ)】 (思判表力等) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えよう とすることができる。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しよう と取り組もうとしている。	・生命・自然 季節の変化と生活(年間を通して)	・「太陽」「月」「星」等と昼夜との関わりに関心をもつ。 ・冬は寒く夏は暑い等の季節の特徴に関心をもつ。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	2月	32	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。【イー(イ)】 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もう とすることができる。【イー(ア)】 (学・人) 危険に気づき、安全な行動についての学習に取り組もうとする。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もう としている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全について身につけよう としている。	・自活安全 避難訓練、防災(年間を通して)	・避難訓練のときは、教師の指示に従う。 ・「火事」「地震」「避難」などの言葉の意味がわかる。 ・教師や友達と一緒に行動し、地域の安全な場所を知る。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」

3 学 期	3月	19	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようすることができる。【ケー(ア)】 (学・人) きまりに気付き、自ら行動を調整しようとする。	(知・技) 簡単なきまりについて関心を持っている。 (思・判・表) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりに従って行動しようとしている。	・きまり 日常生活のきまり、マナー(年間を通して)	・停留所や駅等で、並んで順番を待つ。 ・順番を守って乗り物の乗降をする。 ・決められた場所で遊ぶ。 ・火災報知器や消化器等をいたずらしない。 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座る、口に食物が入っているときは話さない等、身近な生活におけるマナーを身に付ける。	
留意点 引継等			・学習発表会に関する内容を挿入する。				
評価方法			※評価の観点も含めて評価の方法とします。 ・行動観察 ・ワークシート ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105	11名		こくご☆ こくご☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉 が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる ようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる ようにする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	9	(知及び技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【Ⅰ段階ア-(イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。【Ⅰ段階B-ア】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている	言葉で遊ぼう ・ぼくのいちにち	・教師と一緒に言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。 ・身近な人との関わりや出来事 について、教師と一緒に伝えたいことを思い 浮かべたり、選んだりすること。	算数 「1つずつ合わせてみよう」 図画工作 「見てみよう(鑑賞)」 特別の教科 道徳 「学校は楽しいね①」 特別活動 「学年紹介(Ⅰ)」
	5月	10	(知及び技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。【Ⅰ段階ア-(ア)】 (思判表力) 場所や動作を表す学校生活で見る記号の意味に応じ、教師と一緒に行動することができる。【Ⅰ段階C-ウ】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思・判・表) 絵や矢印などの記号で記された意味に応じ、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	どんな意味かな ・しるし ・記号	・身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感じること。 ・教師と一緒に絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。	算数 「パズルをやってみよう」 特別の教科 道徳 「学校は楽しいね②」 特別活動 「2学期頑張ろう会(Ⅰ)」
	6月	10	(知及び技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【Ⅰ段階イー(エ)】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【Ⅰ段階C-ア】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目している。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう① ・あなたはだあれ ・好きな本を読もう(年間を通して)	・教師と一緒に読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	算数 「見た目の大きさで分けてみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別活動 「心の鬼を退治しよう(Ⅰ)」

	7月	10	（知及技）教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【1段階イー（エ）】 （思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【1段階C-ア】 （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【1段階イー（エ）】 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目している。（主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう② ・あなたはだあれ	・教師と一緒に読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	算数 「比べる言葉」 図画工作 「作ってみよう描いてみよう」 体育 「ダンス」 特別の教科 道徳 「温かい心で親切に」 特別活動 「3学期頑張った会（1）」
	9月	10	（知及技）教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【1段階イー（エ）】 （思判表力）教師の支援を受けながら絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【1段階C-イ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【1段階イー（エ）】 （思・判・表）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現している。（主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	話してみよう① ・がっこうだいすき	・場面に応じて絵カードを手掛かりに内容を大まかに把握し、教師と一緒に行事のカードや写真を見ながら言葉や身振り、指差しなどで表現する。	生活 「マナーを身につけよう」 算数 「数えよう、比べよう」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶」 特別活動 「学年紹介」
2学期	10月	10	（知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【1段階アー（イ）】 （思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【1段階C-ア】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師の支援を受けながら言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【1段階アー（イ）】 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【1段階C-ア】 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	ものの名前を学ぶ ・なまえなあんだ（口形、自分の名前、友だちの名前）	・教師の声や口形を模倣して、自分や友達の名前を表現する。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「身近なかたち」 音楽 「動物の鳴き声で遊ぼう」 体育 「的当てゲーム」 特別な教科 道徳 「生命がもつ力」 特別活動 「バランスよく食べよう」
	11月	10	（知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【1段階アー（イ）】 （思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【1段階C-ア】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師の支援を受けながら言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【1段階アー（イ）】 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【1段階C-ア】 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	ものの名前を学ぶ ・なまえなあんだ（動物、食べ物、乗り物）	・教師の声や口形を模倣して、物の名称などを表現する。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「身近なかたち」 音楽 「動物の鳴き声で遊ぼう」 体育 「的当てゲーム」 特別な教科 道徳 「生命がもつ力」 特別活動 「バランスよく食べよう」
	12月	9	（知及技）教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【1段階イー（ウ）⑦】 （思判表力）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【1段階B-イ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師の支援を受けながらいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【1段階イー（ウ）⑦】 （思・判・表）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【1段階B-イ】 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	運筆に親しもう ・かいてみよう（年間を通して）	・クレヨンやフェルトペンで塗り絵をしたり、自由に書いたりして線が書けることに気付くようにする。 ・鉛筆、クレヨン、フェルトペン、筆等、様々な筆記具に触れる。 ・年賀状に関連する言葉を聞いたり、ぐるぐる、ギザギザ、ざあざあ等いろいろな線で絵を表現したりする。	算数 「比べる言葉」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「よいと思うことをすすんで」 特別活動 「2学期を振り返ろう」

3 学 期	1 月	9	(知及技) 教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【1段階イー(ウ)㉞】 (思判表力) 文字に興味を持ち、教師と一緒に書こうとすることができる。【1段階ビー】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	運筆に親しもう ・かいてみよう (年間を通して)	・鉛筆、クレヨン、フェルトペン、筆等、様々な筆記具に触れる。 ・筆で自由に線や文字を書く。	算数 「比べる言葉」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「よいと思うことをすすんで」 特別活動 「2学期を振り返ろう」
	2 月	9	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。【1段階イー(ア)】 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。【1段階Aーア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	お話を演じてみよう ・おおきなだいこん	・絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、教師と一緒にイメージを言葉にする。 ・劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら動作模倣や台詞を表現する。	生活 「お金の大切さを考えよう」 算数 「見た目の大きさを分けてみよう」 音楽 「音楽でお話を楽しもう」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「自然の中で」 特別活動 「展示祭」
	3 月	9	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。【1段階イー(ア)】 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。【1段階Aーア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	お話を演じてみよう ・おおきなだいこん	・絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、教師と一緒にイメージを言葉にする。 ・劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら動作模倣や台詞を表現する。	生活 「お金の大切さを考えよう」 算数 「見た目の大きさを分けてみよう」 音楽 「音楽でお話を楽しもう」 図画工作 「描いてみよう」 特別な教科 道徳 「自然の中で」 特別活動 「展示祭」
留意点 引継等							
評価方法		※評価の観点も含めて評価方法とします。 ・行動観察 ・ワークシート ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	11		さんすう☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的Ⅰ～Ⅲ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断 的視点他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	6	※全ての目標において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知及び技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。 (Bア(ア)カ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	※全ての評価規準において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知・技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付いている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	前学年の復習 ☆本P44 ・ぜんぶ, 「さん」	前学年の復習をする。 ・りんごの「3個」も積み木の「3個」も同じ「3」で表すことや3個のリングの置き方を変えても「3」という数に変わりはないという学習を行う。 おはじきやひまわりのカードなど具体物を間隔を揃えたり、間隔を離したりして数えさせる。 教科書のおはじきのイラストに実際におはじきを乗せて数えたり、おはじきをずらして数えたりする。	
	5月	6	(知及び技) ものともとの対応させて配ることができる。(Aイ(ア)ア) (思判表力) ものともとの関連付けに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(Aイ(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ものともとの対応させて配っている。 (思・判・表) ものともとの関連付けに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりしている。 (主学) 学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを身支度や係活動など、学習や生活に活用しようとしている。	☆本P18 ・おなじマークは、どれでしょう ☆本P19 ・じぶんのまーくは、どこでしょう ☆本P20 ・みんなに、くばりましょう	・形や絵に着目して、持ち物に付いているマークと置き場所に付いているマークを見比べて操作する活動を行う。 ・児童が興味をもちそうなシールやカードを用意して、自分の好きなマークを選択させる。 ・他のマークと見分ける活動を行う。	音楽「すうじのうた」
	6月	8	(知及び技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。(Bア(ア)イ) ・5までの範囲で数唱することができる。(Bア(ア)ウ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表している。 ・5までの範囲で数唱している。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P30 ・いち、に、たくさん ☆本P32 ・いち、に、さん、し、ご	・左右の手に一つずつ具体物を持ち、まだ両手には持てないほどの具体物がある状況を体感する。 ・操作を通して、「数えること」があることに気付かせ「1個、2個、たくさん」と表現するなど、「数唱」することについて学習する。 ・5までの範囲の数唱では、「数を数えること」ではなく「数を唱える」ことに留意する。日常生活の中でも、指差しや指を折りながら数唱することの体験を重ねる。	

	7月	6	（知及技）対応させてものを配ることができる。（Ｂア（ア）オ） （思判表力）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。（Ｂア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）対応させてものを配っている。 （思・判・表）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P36 ・まーくにあわせて、ならべましょう	・教科書のイラストを参考に、実物を使って、実際にボウリングのピンを並べる活動をする。 ・ピンを手取る前に、数唱を聞きながら、あるいは、自分で唱えながらマークを指差す。 ・マークの数を手がかりにピンを手に取り、並べる。	
	9月	12	（知及技）形が同じ物を選ぶことができる。（Ｃア（ア）㊦） （思判表力）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。（Ｃア（イ）㊦） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）形が同じ物を選んでいる。 （思・判・表）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじものをさがそう ☆本P54～57 ・おなじかたちをみつけましょう ・おなじかたちをえらびましょう ※2年生では立体図形を扱う。	※平面図形、立体図形共に扱っていく。 ・立体図形の学習として積み木を使用し、児童が操作することで体験的に形を認識できるようにする。 ・複雑な形の積み木は使用せず、立方体や円柱、三角柱などの形が明確に分けられるものを使用する。 ・積み木をそれぞれの仲間て分類をすることで、同じ形を認識できるようにする。	
	10月	12	（知及技）似ている二つのものを結び付けることができる。（Ｃア（ア）㊧） ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。（Ｃア（ア）㊧） （思判表力）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。（Ｃア（イ）㊧） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）似ている二つのものを結び付けている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせている。 （思・判・表）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじ、ちがうをさがそう ☆本P62～63 ・にているものをみつけましょう ☆本P64～65 ・そろえましょう ☆本P66～69 ・おなじかたちをあつめましょう	※平面図形、立体図形共に扱っていく。 ・校内探索を行い、似ている形も含めて丸、三角、四角の形探しを行う。（正方形と長方形を似ている形として捉えさせるなど） ・積み木の立方体と直方体、円柱の高さが違うものなどを用意し、見る角度を示すことで、同じ部分と違う部分を感覚的に感じられるようにする。 ・ひとつの積み木を示して、教室中から同じ形のものを探すなどのゲームを行う。 ・児童の興味のあるお菓子の箱などを用意し、積み木と同じ形や似た形を探す。 ・手袋や靴下、靴など実物を用意し、バラバラになったものを揃えて片付ける。靴は左右にも意識させる。 ・トイレのスリッパを揃える活動を通して、日常的に一対を仲間にする活動を行う。	
2学期	11月	11	（知及技）教師の支援を受けながら、形が同じ物を選ぶことができる。（Ｃア（ア）㊨） （思判表力）教師の支援を受けながら、ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。（Ｃア（イ）㊨） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）教師の支援を受けながら、形が同じ物を選んでいる。 （思・判・表）教師の支援を受けながら、ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）教師の働きかけで学習に取り組んでいる。 ・教師と共に学習に取り組んでいる。 ・日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじものをさがそう ☆本P54～57 ・おなじかたちをみつけましょう ☆本P58～61 ・おなじかたちをえらびましょう	・校内探索を行い、身の回りの丸・三角・四角の形探しを行う。 ・教科書の透明シートの操作を行う。 ・三角2つでちょうちょうをつくるなど、簡単な色板教材を使用し、形に着目して同じ形を見つける作業を繰り返す。 ・同じ形でも大きさが違うものなどを用意し、形を重ねたり見比べたりする経験をする。 ・iPadアプリなどを利用する。 ・型はめ教材を用い、はめ板、ピース共に縁をなぞって形に注目させる。 ・難易度を上げ、ピースが2～3分割されているものを準備し、ピースで形をつくらせてからはめ板に入れるようにする。	

	12月	8	(知及技) 大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(D測定ア(ア)ア) (思判表力) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(Dア(イ)ア) (学・人) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) 大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	身の回りのものを比べてみよう ☆P70～71 ・おなじ、ちがう	・2つの具体物をよく観察し、「同じである」「同じではない」を判断する。 ・「同じである」「同じではない」ことを、用語「同じ」「違う」を用いて表現する。 ・複数の具体物の中から同じ物を選ぶ、探す。 ・大小や多少等で区別することに関心を持つ。	
	1月	11	(知及技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(D測定ア(ア)ア) ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。(Dア(ア)イ) (思判表力)、大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(Dア(イ)ア) (学・人) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	大きさの違うものを運んでみよう ☆P72～73 ・おおきいちいさい① 比べる言葉 ☆P76～77 ・おおい、すくない①	・大人や子どもの身体や手、靴などを比べる。 ・大人や子どもの上着や靴を履いたり、着たりしてみる。 ・ボールや箱など大きさの違う物を運んでみる。 ・宅配便ごっこ ・生活経験などをとおして「大きい」と認識していると思われるもの(飛行機、大型トラックなど)を動画や画像で見る。 ・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別し、用語を用いる。	国語「お話を演じてみよう」 図画工作「紙版画の作品作り」
3学期	2月	11	(知及技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(D測定ア(ア)ア) ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。(Dア(ア)イ) (思判表力) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(Dア(イ)ア) (学・人) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	見た目の大きさを分けてみよう ☆P74～75 ・おおきいちいさい② 比べる言葉 ☆P78～79 ・おおい、すくない② 比べる言葉 ☆P80～81 ・ながい、みじかい	・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」、「同じ」に区別し、用語を用いる。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土のかたまりを作る。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土のかたまりを操作し同じにする。 ・大きい砂山と小さい砂山を作る。 ・大きい砂山と小さい砂山を操作し同じにする。 ・ほとんど飲んである牛乳瓶とまだ飲んでない牛乳瓶を比べる。 ・コップにお茶やジュースを入れ、目印をもとに比べる。 ・同じコップに多いお茶と少ないお茶を入れる ・多いお茶と少ないお茶を操作し同じにする。 ・基準に対して「多い」「少ない」を区別し、用語を用いる。 ・具体物の長さに関心を持つ。 ・3つの長さの異なる同質の棒をそれぞれの長さのくぼみに入れ道を平らにし、ビー玉を転がしたり、車を走らせたりする。	
	3月	6	4月～3月の目標(省略)	(省略)	一年間のまとめ	一年間のまとめ	(省略)
留意点 引継等							
評価方法		※評価の観点も含めて評価方法とします。 ・行動観察 ・ワークシート ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い・質問への受け応え・教材の操作の仕方					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	11名		おんがく☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	(2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	5	(知及技) 音楽に合わせて教師と一緒に打楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) (思判表力) 優しい曲想に気づき、教師と一緒に好きな部分を口ずさんだり歌ったりすることができる。(2段階Aア) (学・人) 教師と一緒に友達とのやりとりを楽しみながら表現をする。(2段階)	(知・技) 音楽に合わせて教師と一緒に打楽器を鳴らすことができる。 (思・判・表) 優しい曲想に気づき、教師と一緒に好きな部分を口ずさんだり歌ったりして表現している。 (主学) 教師と一緒に友達とのやりとりを楽しみながら表現しようとしている。	○一緒に音を鳴らそう(器) ・てをたたきましょう ○曲の雰囲気を感じて歌おう(歌) ・はるのおがわ ○歌に合わせて身ぶりで遊ぼう(身) ・さあみんな ・ひらいたひらいた	・教師と一緒にリズムに合わせて手拍子や足踏みなどをする。 ・タンブリンやカスタネットなどの打楽器を用いて、教師と一緒にリズム打ちをする。 ・動画や写真を見ながら、曲を鑑賞する。 ・教師と一緒に歌ったり、部分的に歌ったりする。 ・一列になったり、輪になったりして座り、教師と一緒に曲に合わせて手拍子をしたり歌詞に合わせた動作をしたりする。 ・全員で手をつないで輪を作り、拍に合わせて手を振ったり、足踏みをしたりする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	5月	7	(知及技) リズムを感じ、教師と一緒に音楽に合わせて打楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) (思判表力) 歌詞に親しみをもち、教師と一緒に好きな部分を口ずさんだり歌ったりして表現することができる。(2段階Aア) (学・人) 教師と一緒に歌詞に出てくる言葉に合わせた簡単な動作をする。(2段階)	(知・技) リズムを感じ、教師と一緒に音楽に合わせて打楽器を鳴らすことができる。 (思・判・表) 歌詞に親しみをもち、教師と一緒に好きな部分を口ずさんだり歌ったりして表現している。 (主学) 教師と一緒に歌詞に出てくる言葉に合わせた簡単な動作をしようとしている。	○一緒に音を鳴らそう(器) ・おもちゃのちゃちゃちゃ ○曲の雰囲気を感じて歌おう(歌) ・すうじのうた ○歌に合わせて身ぶりで遊ぼう(身) ・いっばんばしこちよ ○交流学习に関する曲	・教師と一緒に「ちゃちゃちゃ」の部分で歌ったり手拍子で演奏したりする。 ・教師と一緒に、打楽器を鳴らす。 ・歌に合わせて提示する絵を見て楽しむ。 ・教師と一緒に、歌詞に合わせてイラストを貼りながら歌って楽しむ。 ・ペアを組み、向かい合った相手が歌詞に合わせて手指を動かし、くすぐられることを楽しむ。 ・速度や強弱などの変化をつけて、教師と一緒に曲に合わせて手遊びを楽しむ。	国 A 聞くこと・話すこと C 読むこと 算 「すうじをよもう」 体 「体づくり運動①」
	6月	7	(知及技) 示範を見て教師と一緒に模倣し、体を動かすことができる。(2段階Aア) (思判表力) ①教師と一緒に有音程打楽器の鳴らし方を知り、音の速さや強弱などを変えて楽器を鳴らすことができる。(2段階Aイ) ②教師と一緒に身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。(2段階Bア) (学・人) 教師と一緒に合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりする。(2段階)	(知・技) 示範を見て教師と一緒に模倣し、体を動かすことができる。 (思・判・表) ①教師と一緒に有音程打楽器の鳴らし方を知り、音の速さや強弱などを変えて楽器を鳴らすようとしている。 ②教師と一緒に身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くようとしている。 (主学) 教師と一緒に合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりしようとしている。	○歌に合わせて体を動かそう(身) ・エビカニクス ○歌に合わせて楽器を鳴らそう(歌・器・音) ・とけいのうた ○様子を思い浮かべて聴こう(鑑) ・あめふりくまのこ ○歌のまねっこで遊ぼう(歌) ・こぶたぬきつねこ ○交流学习に関する曲	・「エビ」「カニ」の姿や動きの特徴をイラストや写真で確認する。 ・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・教師や友達と一緒に踊る。 ・好きな打楽器を選び、歌に合わせて拍打ちをする。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。 ・教師がペアになって交互唱し、聴いて楽しむ。 ・教師と一緒に、交互唱をして楽しむ。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス 特 「平和学習」

	7月	6	（知及技）教師と一緒に呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。（2段階Aア） （思判表力）動物の動きをイメージして、友達や教師と一緒に体を動かすことを楽しむことができる。（2段階Aエ） （学・人）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つ。（2段階）	（知・技）教師と一緒に呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。（2段階Aア） （思・判・表）動物の動きをイメージして、友達や教師と一緒に体を動かして表現している。 （主学）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持って取り組んでいる。	○歌のまねっこで遊ぼう（歌） ・あいあい ○歌に合わせて体を動かそう（身） ・プールでちゃっぶん ○タンとウンのリズムで遊ぼう（器） ・ぶんぶんぶん	・教師がパネルシアター等を操作しながら、「アーアイ」「アイアイ」の部分を二人で交互に歌うのを聴く。 ・教師が歌って呼びかけ、児童が答えの部分を歌う。 ・プールで使う小道具を選び、範唱に合わせて、イメージを膨らませながら、教師と一緒に様々な泳ぐ動作をする。 ・動物のお面をして、教師と一緒にそれぞれの動物の動きを身体表現する。 ・教師や友達と一緒にリズムの違いを感じて演奏する。 ・それぞれのパートに分かれて、教師と一緒に演奏する。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「水の中での運動」 ・動物に変身だ 「表現運動①」 ・ダンス
	9月	7	（知及技）①友達や教師と一緒に声を合わせて歌うことができる。（2段階Aア） ②教師と一緒に絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。（2段階Aイ） ③教師と一緒に音楽の雰囲気や季節感を感じながら鑑賞することができる。（2段階Bア） （思判表力）教師と一緒にリズムや歌詞に合わせた身体表現をすることができる。（2段階Aエ） （学・人）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに親しむ。（2段階）	（知・技）①友達や教師と一緒に声を合わせて歌うことができる。（2段階Aア） ②教師と一緒に絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。（2段階Aイ） ③教師と一緒に音楽の雰囲気や季節感を感じながら鑑賞することができる。（2段階Bア） （思・判・表）教師と一緒にリズムや歌詞に合わせた身体表現をしている。 （主学）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに親しもうとしている。	○季節の歌（歌・身・鑑） ・やきいもグーチーパー ○様子を思い浮かべて聴こう（鑑） ・もりのくまさん ○ドの音で遊ぼう（器・鑑） ・まほうのド ・どこどこド	・はじめはゆっくりとしたテンポから始め、教師と一緒に歌ったり、部分的に歌ったりする。 ・じゃんけん部分だけに動きをつけて、歌に合わせて「ぐー」「ちょき」「ぱー」の動作をする。 ・歌詞に合わせて身体表現をする。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。 ・使用する楽器を自由に鳴らす。 ・絵譜を見ながら、教師と一緒に「ド」の音のタイミングで手拍子をしたり「ド」の音を鳴らしたりする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「体づくり運動①」 特 「運動会で全力を出そう」
2学期	10月	7	（知及技）①教師と一緒に、動物の動きを表す擬態語や曲に合わせた動きを表現することができる。（2段階Aエ） ②教師と一緒に絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。（2段階Aイ） （思判表力）①教師と一緒に身振りの大きさや歌声の強弱などを工夫して表現することができる。（2段階Aア） ②身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。（2段階Bア） （学・人）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに親しむ。（2段階）	（知・技）①教師と一緒に、動物の動きを表す擬態語や曲に合わせた動きを表現することができる。（2段階Aエ） ②教師と一緒に絵譜を見ながらキーボードや木琴などでドの音を鳴らすことができる。（2段階Aイ） （思・判・表）①教師と一緒に身振りの大きさや歌声の強弱などを工夫して表現している。 ②教師と一緒に身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くとしている。 （主学）教師と一緒に拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに親しもうとしている。	○動物の鳴き声で遊ぼう（歌・音・身） ・どうぶつたいそう 1・2・3 ○季節の歌（歌・身） ・きのこ ○ドの音で遊ぼう（器・鑑） ・まほうのド ・どこどこド ○遠足、校外学習に関する曲 ・バスに乗って ・公園に行きましょう	・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・教師や友達と一緒に踊る。 ・キノコの「挿絵や紅葉、すすきなどの映像を見て、秋の雰囲気を感ずる。 ・繰り返し出てくる「きききのこ」の歌詞をリズムに合わせて歌唱する。 ・絵譜を見ながら、教師と一緒に「ド」の音のタイミングで手拍子をしたり「ド」の音を鳴らしたりする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 算 「すうじをよもう」 「数えよう、比べよう」 体 「表現運動②」 ・ダンス
	11月	7	（知及技）教師と一緒に呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりする。（2段階Aア） （思判表力）教師と一緒にテンポや音量の違いを感じ、工夫して歌う。（2段階Aア） （学・人）教師と一緒に特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かす。（2段階）	（知・技）教師と一緒に呼びかけに応じて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。（2段階Aア） （思・判・表）教師と一緒にテンポや音量の違いを感じて歌う等、工夫している。 （主学）教師と一緒に特徴的な言葉に気付き、リズムに合わせて体全体を動かそうとしている。	○身ぶりを付けてみんなて歌おう（歌・身） ・ふしぎなポケット ○リズムを楽しもう（器） ・やまのおんがくか ○遠足、校外学習に関する曲 ・バスに乗って ・公園に行きましょう	・ポケットにビスケットが入っているイラストを用意し、増えていく様子を示しながら範唱する。 ・教師と一緒に「ひとつ」や「ふたつ」等、曲の一部分を歌う練習をする。 ・教師と一緒に回数に合わせて手拍子や楽器でリズム打ちをする。 ・教師と一緒に好きな楽器を選んで自由に鳴らす。 ・選んだ楽器を用いて、教師と一緒に、歌詞に合わせて鳴らしたり、友達と一緒に合奏したりする。	国 A 聞くこと・話すこと C 読むこと 算 「数えよう、比べよう」 体 「表現運動②」 ・ダンス

	1 2 月	6	〔知及技〕教師と一緒にリズムに合わせてスキップやギャロップをしたり歩いたりしながら歌うことができる。(2段階Aア) 〔思判表力〕身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴くことができる。(2段階Bア) 〔学・人〕友達や教師と一緒に、リズムに合わせて体を動かす。(2段階)	〔知・技〕教師と一緒にリズムに合わせてスキップやギャロップをしたり歩いたりしながら歌うことができる。 〔思・判・表〕身近な人の演奏を見たり、身体の動きで表したりしながら聴いている。 〔主学〕友達や教師と一緒に、リズムに合わせて体を動かそうとしている。	○季節の歌を歌おう(歌・身) ・ゆき ○様子を思い浮かべて聴こう(鑑) ・ほしにねがいを ・はくちょう ○クリスマスソングを踊ろう(身) ・ハッピークリスマス ○リズムを楽しもう(器) ・やまのおんがくか	・教師が「ゆきや」と歌い、児童が「こんこ」とこたえるように歌う。 ・教師と一緒にリズムに合わせてスキップやギャロップをしたり、リズムに合わせて歩いたりしながら歌う。 ・教科書の挿絵や映像を見ながら曲を聴く。 ・教師が手本を示し、振り付けを確認する。 ・教師や友達と一緒に踊る。 ・タンブリンやカスタネットなどの身近な楽器を用いて、教師と一緒にリズム打ちをする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	1 月	7	〔知及技〕①教師と一緒に、身体の手の位置と音階の高低を対比させ、身体表現をしながら歌うことができる。(2段階Aエ) ②教師と一緒に、ドレミの3音を組み合わせた曲の階名唱をしたり鍵盤楽器を鳴らしたりすることができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕①教師と一緒に歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌うことができる。(2段階Aア) ②教師と一緒に好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら友達と歌唱や身体表現をすることができる。(2段階Aエ) 〔学・人〕教師と一緒に身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもつ。(2段階)	〔知・技〕①教師と一緒に、身体の手の位置と音階の高低を対比させ、身体表現をしながら歌うことができる。 ②教師と一緒に、ドレミの3音を組み合わせた曲の階名唱をしたり鍵盤楽器を鳴らしたりすることができる。 〔思・判・表〕①教師と一緒に歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌って表現している。 ②教師と一緒に好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら友達と歌唱や身体表現をしている。 〔主学〕教師と一緒に身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもって取り組んでいる。	○ドレミの音で遊ぼう(器) ○ドレミで楽しく歌おう(歌・身) ・ドレミの歌 ・あのね ○季節の歌(歌) ・おしょうがつ ・もちつき ○音楽でお話を楽しもう(鑑) ・おおきなかぶ	・曲を聴く。 ・教師と一緒に、身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。 ・音名に合わせて、教師と一緒に楽器を鳴らす。 ・歌詞をパネルシアターやICT端末等を見ながら範唱する。 ・身体表現と共に教師や友達と一緒に歌う。 ・教師と一緒に、身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ 「お話を演じてみよう」 ・おおきなだいこん C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
3 学期	2 月	7	〔知及技〕教師と一緒に「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕教師と一緒に身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもつことができる。(2段階Aエ) 〔学・人〕教師と一緒に歌詞に出てくる言葉に合わせた身体表現をする。(2段階)	〔知・技〕教師と一緒に「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。 〔思・判・表〕教師と一緒に身近な言葉と音名を結びつけ、音名に興味をもって表現している。 〔主学〕教師と一緒に歌詞に出てくる言葉に合わせた身体表現をしようとしている。	○ドレミで楽しく歌おう(歌・身) ・ドレミの歌 ○ドレミの音で遊ぼう(器) ・ドレミであいさつ ○リズムに合わせて遊ぼう(音・身) ・赤田首里殿内	・音名に合わせて、教師と一緒に楽器を鳴らす。 ・教師と一緒に、身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現する。 ・教科書の挿絵や沖縄の風景を写した画像や映像などを見て歌う。 ・お囃子の部分で、歌詞に合わせた手遊びをする。	国 A 聞くこと・話すこと C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	3 月	4	〔知及技〕教師と一緒に「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。(2段階Aイ) 〔思判表力〕教師と一緒に歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌うことができる。(2段階Aア) 〔学・人〕教師と一緒に曲の盛り上がりを感じて自然と発声したり、体を動かしたりする。(2段階)	〔知・技〕教師と一緒に「ド」「レ」「ミ」の3つの音の高低の違いを感じながら演奏することができる。 〔思・判・表〕教師と一緒に歌詞に使われている行事に関する言葉に気付き、季節感を味わいながら歌う等工夫している。 〔主学〕教師と一緒に曲の盛り上がりを感じて自然と発声したり、体を動かそうとしている。	○ドレミの音で遊ぼう(器) ・ドレミであいさつ ○季節の歌(歌・鑑) ・うれしいひなまつり ○リズムに合わせて遊ぼう(音・身) ・じえっとこーすたー ○校歌	・教師と一緒に階名唱をする。 ・トーンチャイムやハンドベル等の単音楽器を使って、教師と一緒に演奏する。 ・1フレーズずつ教師の範唱を模唱する。 ・「五人ばやし」「お内裏様」「おひな様」「官女」「右大臣」など、歌詞に登場する人形を描いたペープサート等を、教師と一緒に揺らしながら歌う。 ・前半部分の音楽に合わせて教師と一緒に身体表現(走る)をする。 ・後半部分の音楽に合わせて教師と一緒に身体表現(止まって揺れる)をする。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 国 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう②」 ・はるなつあきふゆ C 読むこと 体 「表現運動②」 ・ダンス
	留意点 引継等		※「日のまる」、国歌「君が代」は、時期に応じて適切に指導する。 ※児童らの興味関心の高い曲及び流行の曲等がある場合には、適時取り扱う。				
	評価方法		※評価の観点も含めて評価方法とします。 ・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え ・楽器等、教材の操作の仕方				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	11名		「レッツ！工作 ピクニック」

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出ることができるようにする。(Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。(Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的 視点 他教科との関
1 学期	4月	5	(知及び技) 様々な形の色紙を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(ア)) 様々な形の色紙を使って教師と一緒にこいのぼりを作ることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基にイメージし、教師と一緒に形に表すことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、教師と一緒に楽しんで制作活動に取り組む。(Ⅰ段階) (知及び技) はじき絵の技法で模様を描く制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(ア)) クレヨンや絵の具などを使い、教師と一緒に はじき絵の技法で模様を描くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に模様に表すことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、教師と一緒に楽しんで はじき絵の技法を使った活動に取り組む。(Ⅰ段階)	(知・技) 様々な形の色紙を使った制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(ア)) 様々な形の色紙を使い、教師と一緒にこいのぼりを作ることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (思・判・表) 材料などを基にイメージし、様々な形の色紙を使って教師と一緒に形に表している。 (主学) 作り出す喜びを味わいながら、様々な形の色紙を使って教師と一緒に、制作活動に取り組もうとしている。 (知・技) はじき絵の技法での制作活動を通して、形や色などの違いに気付くことができる。 クレヨンや絵の具などを使い、教師と一緒に はじき絵の技法で模様を描くことができる。 (思・判・表) 材料などを基にイメージし、教師と一緒に模様に表現している。 (主学) はじき絵の技法を使った、模様を描く活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～こいのぼりを作ろう～ ・描いてみよう ～クレヨン、絵の具を使って～(はじき絵)	・はさみの安全な使い方を確認する。 ・色紙に手形を取り、はさみで切る。 ・切った色紙をカラービニールにこいのぼりのウロコとしてのりで貼る。 ・画用紙にクレヨンで自分の好きな模様を描く。 ・描いた模様の上から絵の具を塗る。	国「ものの名前を学ぶ」 算「形を作ろう」
	5月	7	(知及び技) マーブルリングの技法で模様を作る活動を通して、様々な色や模様の違いに気付くことができる。(Ⅰ段階共通事項ア(ア)) 様々な画材を使って教師と一緒にマーブルリングの技法で模様を作ることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に模様に表すことができる(Ⅰ段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) つくり出す喜びを味わい、教師と一緒に楽しんでマーブルリングの技法を使った活動に取り組む。(Ⅰ段階)	(知及び技) マーブルリングの制作活動を通して、色や模様の違いに気付くことができる。 教師と一緒にマーブルリングの技法で模様を作ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に、マーブルリングの技法を使って表現している。 (主学) マーブルリングの技法を使って模様を作る活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ・マーブルリング(コースター等)	・バットに洗濯のりと水を入れる。 ・パレットや紙コップの上でアクリル絵の具の準備する。 ・洗濯のりと水が入ったバットに自分が好きな色の絵の具を垂らす。 ・竹串や爪楊枝などの先端を水面で動かして模様の上に紙をそっと置き、紙に模様をつける。	算「身近なカタチ」

	6月	7	(知及技) 絵を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 様々な画材から使いたい画材を選び、教師と一緒にシャボン玉の絵を描くことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 写真などを基にシャボン玉のイメージを持ち、教師と一緒に絵を描くことができる。(1段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) シャボン玉を絵に表す喜びを味わい、教師と一緒に絵を描く活動に取り組む(1段階) (知及技) 様々な色紙を使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 様々な色紙を使い、教師と一緒に七夕飾りを作ることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 飾りの見本などを基に自分の好きな飾りをイメージして教師と一緒に七夕飾りを作ることができる。(1段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) つくり出す喜びを味わい、教師と一緒に楽しんで制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 絵を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な画材を使って、教師と一緒にシャボン玉を描くことができる。 (思・判・表) 写真などを基にシャボン玉のイメージを持ち、教師と一緒に絵に表している。 (主学) 絵を描く活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 様々な色紙を使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な色紙を使い、教師と一緒に飾りを作ることができる。 (思・判・表) 飾りの見本などを基に、自分の好きな七夕飾りをイメージして教師と一緒に形に表している。 (主学) 様々な色紙を使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～シャボン玉を描こう～ ・作ってみよう (三角つなぎ、ちょうちん、天の川)	・水性フェルトペンで丸をたくさん描く。 ・霧吹きをかけてにじませる。 ・色紙を三角に切る。 ・色紙の角にのりを付けて、つなげるように貼る。 ・一番上に穴をあけ糸を通し、飾る。 (三角つなぎ)	国「ものの名前を学ぶ」 算「数えよう、比べよう」 「形を作ろう」
	7月	6	(知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(1段階共通事項ア(ア)Bア(ア)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分の感じたことを教師と一緒に発表することができる。(1段階Bア(ア)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を観て、感じたことを話し合う活動を通して、つくり出す喜びを味わう。(1段階)	(知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に表現している。 (主学) 教師と一緒に作品の鑑賞や作品を観て、感じたこと話し合う活動に取り組もうとしている。	・見てみよう ・みんなの作品を鑑賞しよう (年間を通して)	・これまで作成した自分や友達の作品をお互いに見合って、そのよさや面白さを話す。 ・自分の1番好きな作品を選び、その理由を考える。 ・自分が1番好きな作品を皆の前で発表する。	国「文の構成」 道「よいところを見つけよう」
	9月	7	(知及技) クリアファイルや色紙などの素材を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) クリアファイルや色紙を使い、教師と一緒にレターラックを作ることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) つくり出す喜びを味わい、教師と一緒に楽しんで制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) クリアファイルや色紙などの素材を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。 クリアファイルや色紙などの素材を使い、教師と一緒にレターラックを作ることができる。 (思・判・表) 材料などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に形に表している。 (主学) クリアファイルや色紙などの素材を使い、教師と一緒に楽しんで制作活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～敬老の日のプレゼントを作ろう～ (クリアファイルのレターラック等)	・クリアファイルを半分に切り離す。 ・クリアファイルを上部から半分に折り、両面テープで貼り付ける。 ・周囲をテープやリボンで飾る。	国「お話をしてみよう」 算「数えよう、比べよう」 「身近なかたち」
	10月	7	(知・技) 感想画を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 様々な画材から使いたい画材を選び、教師と一緒に感想画を描くことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 絵本等の挿絵や物語の内容を基に、自分のイメージを持ち、教師と一緒に絵に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)Aア(ア)) (学・人) 好きな絵本等を絵に表す喜びを味わい、教師と一緒に感想画を描く活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 感想画を描く活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。 様々な画材から、使いたい画材を選び、教師と一緒に感想画を描くことができる。 (思・判・表) 絵本等の挿絵や物語の内容を基に、自分のイメージを持ち、教師と一緒に絵に表すことができる。 (主学) 感想画を描く活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～絵本を見て感じたことを描こう～ (読書感想画コンクール)	・絵本の読み聞かせを見たり、聞いたりして感じたことや思ったことを言い合う。 ・自分が描きたい場面を決めて、挿絵等を参考に絵の具やクレヨンを使って絵を描く。 ・お互いの作品を観て、その様子や表し方について友人と話し合う。	国「絵から想像して話してみよう」

2 学 期	11月	7	（知・技）紙粘土から色々な形を作り出す感覚や動物等のマグネットを作る活動を通して、紙粘土の感触や形の違い、形が変化する様子などに気付くことができる。（1段階共通事項ア（ア）） 紙粘土の扱いに慣れ、教師と一緒に色々な形を作ったり動物マグネットを作ることができる。（1段階Aア（イ）） （思判表力）紙粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に動物等のマグネットを作る活動に取り組む。（1段階）	（知・技）紙粘土から色々な形を作り出す感覚や動物等のマグネットを作る活動を通して、紙粘土の感触や形の違い、形が変化する様子などに気付くことができる。（1段階共通事項ア（イ）） 紙粘土の扱いに慣れ、教師と一緒に動物マグネットを作ることができる。（1段階Aア（イ）） （思・判・表）紙粘土から作り出した様々な形などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に動物等のマグネットを表している。（主学）紙粘土で動物等のマグネットを作る活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～紙粘土で動物等のマグネットを作ろう～ （紙粘土のマグネット）	・動物等の写真を見ながら、粘土をちぎったり、平たくしたりして自分の好きな動物や物を作る。 ・型パネル等も使って作っている。 ・友達と自分が作った物について工夫した点を発表し合う。	国「文の構成」 算「形を作ろう」
	12月	6	（知及技）紙版画の型紙を作ったり刷ったりする活動を通して、色々な紙の材質や形、色の違い、型紙と版画の関係などに気付くことができる。（1段階共通事項ア（ア）） 色々な材質の紙や用具を使い、教師と一緒に型紙を作ったり刷ったりすることができる。（1段階Aア（イ）） （思判表力）紙の材質や形などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に紙版画の型紙を作ったり、刷ったりすることができる。（1段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）材料を切ったり組み合わせたりして紙版画に表す喜びを味わいながら、教師と一緒に紙版画を作る活動に取り組む。（1段階）	（知・技）紙版画を作る活動を通して、色々な紙の材質や形、色の違い、型紙と版画の関係などに気付くことができる。（1段階共通事項ア（イ）） （思・判・表）紙の材質や形などを基に自分のイメージを持ち、教師と一緒に紙版画の型紙を作ったり、刷ったりしている。（主学）紙版画を作る活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～たのしくうつして～（大好きな動物や模様・紙版画）	・参考作品を見て、気付いたことを話し合う。 ・型紙を作る。 ・作った型紙を使っていろいろな形を写す。 ・自分や友達の作品を見て、面白い所や工夫している所を話し合う。	国「お話をしてみよう」 算「身近な私たち」
	1月	7	（知・技）段ボールやビー玉などを使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。（1段階共通事項ア（ア）） 段ボールやビー玉などを使い、教師と一緒にコマを作ることができる。（1段階Aア（イ）） （思判表力）材料を基にイメージを持ち、教師と一緒に形に表すことができる。（1段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）つくり出す喜びを味わいながら、教師と一緒に楽しんで制作活動に取り組む。（1段階）	（知・技）段ボールやビー玉などを使った制作活動を通して、形や色の違いに気付くことができる。（1段階共通事項ア（イ）） 段ボールやビー玉などを使い、教師と一緒にコマを作ることができる。（1段階Aア（イ）） （思・判・表）材料を基にイメージを持ち、教師と一緒に形に表している。（主学）段ボールやビー玉などを使った制作活動に、教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～段ボールを使って～ （ビー玉でコマをつくらう）	・段ボールを好きな形に切り、アルミホイルで包む。 ・アルミホイルに油性フェルトペンで模様を描く。 ・裏面の中央にビー玉を置き、セロハンテープで留める。	国「お話をしてみよう」 算「身近な私たち」

3 学 期	2月	7	（知・技）箱に絵を描いたり、写真やイラストを貼ったりする活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。（Ⅰ段階共通事項ア（ア）） 教師と一緒に箱に絵を描いたり、写真やイラスト、折紙などを貼ったりして、思い出箱を作ることができる。（Ⅰ段階ア（イ）） （思判表力）色々な材料などを基にイメージを持ち、教師と一緒に形に表すことができる。（Ⅰ段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）教師と一緒に作り出す喜びを味わいながら、思い出箱を作る活動に取り組む。（Ⅰ段階）	（知・技）箱に絵を描いたり、写真やイラストを貼ったりする活動を通して、形や色、模様などの違いに気付くことができる。 教師と一緒に箱に絵を描いたり、写真やイラスト、折紙などを貼ったりして思い出箱を作ることができる。（Ⅰ段階共通事項ア（イ）） （思・判・表）色々な材料を基にイメージを持ち、教師と一緒に形に表している。 （主学）教師と一緒に、様々な材料を使い、思い出箱を作る活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～絵を描いた紙を貼って～ （思い出箱）	・箱に色紙を貼る。 ・自分の好きな絵を描いたり、写真を選んで箱に貼る。 ・折紙などで飾りを作り、箱に貼る。	国「絵から想像して話してみよう」 算「身近な人たち」 特「Ⅰ年を振り返ろう」
	3月	4	（知・技）イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作る中で、色々な形に気付くことができる。（Ⅰ段階共通事項ア（ア）） イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりして、教師と一緒にパズルを作ることができる。（Ⅰ段階Aア（イ）） （思判表力）材料などを基に自分の作りたいパズルのイメージを持ち、教師と一緒にパズルを作ることができる。（Ⅰ段階共通事項ア（イ）Aア（ア）） （学・人）作り出す喜びを味わいながら、教師と一緒に楽しんでパズルを作る活動に取り組む。（Ⅰ段階）	（知・技）イラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作る中で色々な形に気付くことができる。 教師と一緒にイラストや写真を台紙に貼ったり切ったりしてパズルを作ることができる。（Ⅰ段階共通事項ア（イ）） （思・判・表）材料などを基に自分の作りたいパズルのイメージを持ち、教師と一緒にパズルを作っている。 （主学）教師と一緒にパズルを作る活動に楽しんで取り組もうとしている。	・作ってみよう（パズル） ～いろいろな材料を使って～	・自分の好きな絵や写真を選ぶ。（A5サイズ） ・絵・写真をのりで台紙に貼り上下左右2cmの幅をとって切る。 ・パズルの土台は絵を貼った台紙より0.5mmくらい大きめに切る。 ・絵を貼った台紙の余白2cmを切り、土台に型枠のように貼る。 ・絵を4分割する。 ・プッカーで表面を補強する。	生「見えないものの仕組みを知ろう」 算「数えよう、比べよう」 「形を作ろう」
留意点 引継等							
評価方法		※評価の観点も含めて評価方法とします。 ・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え ・教材・教具の操作の仕方					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	11名		参考にした教科書 「たいいくのがくしゅう 1ねん」(光文書院)

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	6	(知及技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとする。(Ⅰ段階Aウ)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができています。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとしている。	体づくり運動遊び① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックやダンス(年間を通して)をしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミックやダンス(年間を通して) リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	6	(知及技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとする。(Ⅰ段階Aウ)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができています。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとしている。	体づくり運動遊び① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックやダンス(年間を通して)をしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミックやダンス(年間を通して) リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	6月	7	(知及技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとする。(Ⅰ段階Gア)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができています。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動遊び② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・大縄跳びをしよう 保健 ・うがい、手洗い(年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・大縄跳び 縄をまたいだり、跳んだりする。 ・感想発表 ・うがい、手洗い(ここからわーく)	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	7月	5	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Eア) (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Eイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(Ⅰ段階Eウ)	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Eア) (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び① ・ボールを転がしてみよう、投げてみよう、打ってみよう	・集合 準備体操 i 色々なボールを使って遊ぶ サッカー、バレー、バスケット、大玉、その他 ii ボール転がし ボールを転がして的に当てる。 iii ボール投げ ボールを投げて的に当てる。 iv ボールを打つ バットで打つ。 ・感想発表	生:「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国:「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数:「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	9月	7	(知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(1段階Dア) (思判表力)水中での感覚や心地よさを表現することができる。(1段階Dイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。(1段階Dウ)	(知・技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(思・判・表)水中での感覚や心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び① ・水と友達になろう 保健 ・プライベートゾーン(ここからわーく)	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表 ・からだの特に大切なところ ・見たりさわらせてもいい時は？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	10月	7	(知及技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び② ・ボールを蹴ってみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り(サッカー) ボールを蹴っての当てる。 ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・パスをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	8	(知及技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(思・判・表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとしている。	器械・器具を使つての遊び① ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱やミニハードルをまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ iv 高さや幅の異なる平均台を渡る ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	12月	6	(知及技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(思・判・表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとしている。	器械・器具を使つての遊び② ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 iv 平均台上を歩く v 肋木昇降 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	1月	6	(知及技)教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(1段階Fア) (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Fイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。(1段階Fウ)	(知・技)教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。	表現遊び① ・ダンスをしよう (年間を通して：体力づくりでも取り扱う) 保健 ・男女の体のちがい(ここからわーく)	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表 ・男の子と女の子 ・どこが一緒でどこが違う？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

3 学 期	2月	7	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(1段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(1段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び① ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう - i ハードルジャンプ 片足、両足 - ii 的を触る 170cm程度の的をジャンプして触る。 - iii ケン・ケン・パーをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	5	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(1段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(1段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び② ・かけっこをしよう 5分間走の記録会	・集合 ・準備体操 ・かけっこ(記録会) 1 周走ごとに教師からゴムを受け取り、周数を記録する。 - スタート、ゴールを確認する。 - 曲が流れている間、自分のペースで最後まで走る。 - 教師と一緒に走る。 1人で走る。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引継等							
評価方法		※評価の観点も含めて評価方法とします。 ・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	11		

年間目標		道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。				
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	・学校生活について考えることをとおして、学校や学級・友達に関するさまざまなことに気づき、教師と一緒にによりよい学校生活や集団生活を送ろうとする気持ちをもつ。	【Cよりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね	・よりよい学校生活や集団生活を送るために必要なことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「見通しのある毎日の生活」 国 「がっこうだいすき」 特 「3・4年生になって」
	5月	4	・相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいかを考えることをとおして、教師と一緒に挨拶の大切さに気づき、すすんで気持ちのよい挨拶をしようとする気持ちをもつ。 ・教師と一緒に、父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする気持ちをもつ。	【B礼儀】 ・いろいろな挨拶 【C家庭生活の充実】(※) ・家族	・挨拶をする時に大切なことに気づき、それぞれの場面でのふるまい方について、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・教師と一緒に、母の日、父の日を通して、父母に対する感謝の気持ちを持つ。家で進んでお手伝いをする。	生 「マナーを身につけよう」 図 「母の日、父の日プレゼント」
	6月	4	・どうすればよかったかについて考えることをとおして、わがままや自分勝手な行動をしないで、教師と一緒に思慮深く考え、節度ある生活を送ろうとする気持ちをもつ。 ・教師と一緒に、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする気持ちをもつ。	【A節度、節制】 ・わがままをしない	・自分も周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「安全のためにきまりを守ろう」 図 「マナーを身につけよう」 特 「笑ったお父さんの顔」 「一年間を振り返ろう」
	7月	2	・うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、教師と一緒にうそやごまかしのない明るい心で生活しようとする気持ちをもつ。(知・思・学) ・自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、教師と一緒にそれらをすすんで行おうとする気持ちをもつ。	【A正直、誠実】 ・いつも素直に 【A希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・やるべき仕事や勉強の大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「人のかかわり」 国 「どんな気持ちかな」 生 「友達と一緒にやってみよう」 「友達と協力して係活動しよう」
2 学期	9月	3	・教師と一緒に友達に対する理解を深め、友達を大切にしようとする気持ちをもつ。	【B友情、信頼】 ・友達と仲よく	・登場人物を通して、友達と仲よくすることに対する考えを深め、友達の大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生 「いろいろな遊び」 「人のかかわり」
	10月	4	・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、教師と一緒に、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・教師と一緒に、働くことのよさを感じて、みんなのために働くこうとする気持ちをもつ。	【D生命の尊さ】 ・生命がもつ力 【C公共の尊重】(※) ・働くことのよさ	・どんな小さな生き物でも、生きる力が備わっていることに気づき、生命を大切にすることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・教師と一緒に、自分の役割や当番が分かり、進んで行う。給食当番、日直活動、清掃等、自分の役割を果たす。	生 「公共施設を知ろう」 「友達と協力して係活動しよう」 特 「平和学習」
	11月	4	・身近な自然について考えることをとおして、教師と一緒に自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ動植物を大切にしようとする気持ちをもつ。 ・みんなで使う物の大切さに気づき、教師と一緒に約束やきまりを守るよさや、みんなが使う物を大切にしようとする気持ちをもつ。	【D自然愛護】 【D生命の尊さ】 ・自然の中で ・ここからわーく(命の大切さ) 【C規則の尊重】 ・きまりを守って 【B感謝】 ・日頃お世話になっている人	・自然とともに生きていることに気づき、自然に親しむことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・約束やきまりを守って、みんなが使う物を大切にすることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。	生 「身近な生き物や自然を知ろう」 図 「自然の物を使って」 生 「安全のためにきまりを守ろう」

	12月	3	・いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、教師と一緒によいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけようとする気持ちをもつ。(知・思・学) ・優しい気持ちをもって、教師と一緒に、すすんで親切的な行動をしようとする気持ちをもつ。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで 【B 親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・よいことと悪いことの区別をし、状況に合わせた行動をしようとする ことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・自分の生活経験をもとに、思いやりの心を持ち、親切に行動することの大切さについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	国 「どんなきもちかな」
3 学 期	1月	3	・教師と一緒に、友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする気持ちをもつ。	【A 個性の伸長】 ・よいところを見つけよう ・すきなものを見つけよう	・友達との関わりの中で、自分の特徴やよさを確かめ、伸ばそう ことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・自分の好きなことや得意なことを続けていくことの大切さを理解し、将来の夢や長所を伸ばすことについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	特 「学年紹介」
	2月	4	・言葉の大切さを理解し、教師と一緒に、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする気持ちをもつ。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉 ・ここからわーく（相手の気持ちを考えよう、ふわふわ言葉とちくちく言葉、ケンカしても仲直り）	・相手に言われて嬉しい言葉のよさに気づき、言葉の大切さについて教師と一緒に自分との関わりで考えること。	国 「どんなきもちかな」
	3月	2	・教師と一緒に、相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする気持ちをもつ。 ・一年間の振り返りを通して、自分の成長に気づき、4年生でも頑張ろうとする気持ちをもつ。	【C 勤労・公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい 【B 感謝】 ・ここからわーく（私の誕生、大切な存在、心地よい肌や心の触れ合い）	・働くことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。 ・父母に対する感謝の気持ちをもつ。 ・一年間の振り返りを通して、自分の成長について考えること。	生 「人のかかわり」 国 「どんなきもちかな」
留意点 引継等						
評価方法		・学習に対する取り組み姿勢 ・行動観察 ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	11名		Let's Try!

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4・5	7	(知及び技) 簡単な挨拶の表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 表情やジェスチャー等を交えて表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、コミュニケーションを図る。	(知・技) 英語の挨拶表現を活用しようとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて表現している。 (主学) 身振りや発声、表情でコミュニケーションを取ろうとしている。	あいさつをしよう Hello. Good morning. Good afternoon. Good bye. ごきげんいかが? How are you? I'm fine/hungry, sleepy,tired.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・朝、昼、夜などの絵カードを用い、カードをめくって絵の時間にふさわしい挨拶を言う。 ・表情が描かれた絵カードを並べ、教師同士の「How are you?» "I'm ~."のやりとりを表しているカードを選ぶ。 ③ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝えよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	6・7	5	(知及び技) 1～10までの数字を使った歌やゲームをしながら英語での言い方に慣れ親しむ。 (思判表力) 表情やジェスチャー等を交えて表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、コミュニケーションを図る。	(知・技) 1～10までの数字を英語で意欲的に言いながら、活動に参加している。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて表現している。 (主学) 身振りや発声、表情でコミュニケーションを取ろうとしている。	かずであそぼう one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Ten little monkeys」 ②アクティビティ ・「ナンバーバスケット」フルーツバスケットゲームを数字で行う。 ・3×3のマスの中に好きな数字を入れてビンゴゲームをする。 ③ダンス 「Seven steps」	生「人との関わり」 算「10までのかずかぞえましょう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	9・10	6	(知及び技) 天気、曜日を表す表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 表情やジェスチャー等を交えて表現する。 (学・人) 外国語に興味をもち、コミュニケーションを図る。	(知・技) 意欲的に曜日や天気についての英語を言っている。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて表現している。 (主学) 身振りや発声、表情でコミュニケーションを取ろうとしている。	おてんき・ようびはなあに? Sunny,rainy,cloudy, snowy,windy Sunday,Monday,Tuesday,Wednesday,Thursday, Friday, Saturday	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 ・「Sunday Monday Tuesday曜日の歌」 ②アクティビティ ・お天気キャスターに扮して一週間の天気予報を発表する。 ③ダンス 「halloween songs」	生「人との関わり」 国「日常生活の言葉」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」

2 学 期	11 ・ 12	8	(知及技) 色を使ったチャ ンツやゲームをしながら英 語の音声や表現に慣れ親し む。 (思判表力) 表情やジェス チャー等を交えて表現す る。 (学・人) 外国語に興味を もち、コミュニケーション を図る。	(知・技) 色について英語 で意欲的に言いながら、積 極的に活動している。 (思・判・表) 表情やジェ スチャー等を交えて表現し ている。 (主学) 身振りや発声、表 情でコミュニケーションを 取ろうとしている。	いろであそぼう red, blue, yellow, whi te, black, green, oran ge, pink, purple	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ・「Jingle Bell」 ②アクティビティ ・教師が色の名前を英語で言い、教室内の言われた色の物に児童がタッチする。 ・色カルタ取りゲーム ③ダンス 「Santa Claus Is Coming to Town」	生「人との関わり」 国「日常生活の言葉」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
3 学 期	1 ・ 2 ・ 3	9	(知及技) 英語を聞いた り、言ったりしながら身体 をたくさん動かす。 (思判表力) 表情やジェス チャー等を交えて表現す る。 (学・人) 外国語に興味を もち、コミュニケーション を図る。	(知・技) 英語を聞いた り、言ったりしながら身体 を動かしている。 (思・判・表) 表情やジェ スチャー等を交えて表現し ている。 (主学) 身振りや発声、表 情でコミュニケーションを 取ろうとしている。	うごいてみよう stand up sit down Touch your～ . (Head, eye, nose, mou se, ear, shoulder, kne e, toe)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「stand up sit down立って座って」 ・「Simon says song」 ②アクティビティ ・サイモンセズゲーム ・ジェスチャーゲーム - リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト ③ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 「いろいろな遊び」 国「日常生活の言葉」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	11名		

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようになる。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を気付くことができるようになる。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	3	(知及技) 教師と一緒に自分の良さを見つけ、今できることに頑張って取り組むことの大切さを理解することができる。 (思判表力) 3年生の学習や生活を知り、自分のがんばりたいことを教師の支援を受けながら選んだり考えたりできる。 (学・人) 進級の喜びを感じ、新しい先生や友達とともにこれからの生活への意欲を持てるようにする。 (知及技) 手洗いやマスク着用の大切さについて理解できるようにする。 (思判表力) 自分の手洗いやマスク着用について振り返り、自分の課題に合った具体的なめあてを教師の支援を受けながら決めることができる。 (学・人) 自分のめあてを意識し、教師と一緒に実践に取り組むことができる。 (知及技) 身体測定を通して教師の支援を受けながら体や心が成長に気づくようにする。 (思判表力) 教師の支援を受けながら昨年の身長・体重の測定と比べて、自分の成長を調べることができる。 (知及技) 教師の支援を受けながら、図書室の利用の仕方を知る。 (学・人) 図書室を身近に感じ、読書に親しもうという意欲を持つ。	・教師と一緒に自分の良さを見つけ、今できることに頑張って取り組むことの大切さを理解している。(知・技) ・4年生になって自分のめあてやがんばりたいことを教師と一緒に考えたり、選択肢から選んだりしている。(思・判・表) ・進級の喜びを感じ、新しい先生や友達とともにこれからの生活へ意欲をもって取り組もうとしている。(主学) (知・技) 手洗いやマスク着用の意義を理解し、教師と一緒に正しい手洗いやマスク着用ができる。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。(主学) 自分のめあてを意識し、教師と一緒に実践に取り組もうとしている。 (知・技) 身体測定を通して体や心が成長していることに気づいている。 (思・判・表) 教師と一緒に昨年の身長・体重の測定記録と比べ、自分の成長を調べている。 (知・技) 図書室の利用の仕方を理解している。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら図書室をみんなが気持ちよく利用するにはどうしたらよいか考えたり、友達の意見を聞いたりしている。 (主学) 図書室を身近に感じ、読書に親しもうという意欲を持っている。	○3年生になって ○感染症を予防しよう ○大きくなったね、わたしの体(ここからわーく) ○大好き、図書室	・話し合いの進め方の確認をする。 ・学年・学級開き ・学級目標を決める。 ・当番や係活動を決める。 ・1学期の個人目標を決める。 ・自分の手洗いやマスク着用の様子をビデオなどで振り返る。 ・タイミングやポイントを押さえた効果的な手洗い方法やマスク着用について確認し、実践する。 ・身体測定 ・体の名前やプライベートゾーンについて知る。 ・学校図書館オリエンテーション ・司書の話聞き、図書室の使い方や決まりについて話を聞く。	○国 A・聞く・話す B・書く「学校のことを話そう」 ○道「学校は楽しいね」 ○体「うがい・手洗い」 ○国「ものの名前を学ぶ」
I 学期	5月	3	(知及技) 歯の働きや教師の支援を受けながら正しい歯磨きの仕方を知り、歯を大切にしようという気持ちを持つ。 (思判表力) 教師の支援を受けながら、好きなことや得意なことを話し合い、意見をまとめて発表したいことを決めることができる。 (学・人) 教師と一緒に交流会に向けて見通しを持ち、互いに楽しもうという意欲を持つことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら歯の働きや歯磨きの大切さに気付き、教師の支援を受けながら正しい歯磨きの仕方を理解している。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら歯を大切にするための方法について話し合い、自分に合っためあてを決めている。 (知・技) 教師の支援を受けながら学年の良さや得意なことを考え、それを紹介する方法を身に付けている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら好きなことや得意なことを考え、発表したいことを決めている。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、教師と一緒に自分の枠割について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に交流会の内容や準備などについて考え、楽しんで実践している。	○歯を大切にしよう ○学年紹介 ○交流会をしよう	・歯の働きや口腔衛生の大切さについて話を聞く。 ・自分の歯磨きを振り返り、正しい歯磨きの仕方を確認する。 ・話し合いの進め方を確認する。 ・学年紹介に向けて、自己紹介の仕方を考えたり、歌やダンスを披露したりすることができる。 ・事前学習を通して、交流学習への見通しを持つ。	○生「社会の仕組みと公共施設」 ○生 A 基本的な生活習慣 ○道「よいところをみつけよう」

	6月	4	(知・技) 会の意義を理解し、教師の支援を受けながら話し合いの仕方を身に付ける。 (思・判・表) 教師と一緒に、経験したことを思い出し、友達と一緒に遊べる活動を考えることができる。 (学・人) 教師の支援を受けながら、会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとする態度を育てる。 (知・技) 教師の支援を受けながら、沖縄戦や慰霊の日の意味について知ることができる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、平和や命の大切さについて考えるようにする。 (主学) 身近な生活の中にある平和について教師と一緒に考えようとする。	(知・技) 会の意義を理解し、教師の支援を受けながら話し合いの仕方を身に付けている。 (思・判・表) 経験したことを思い出し、教師の支援を受けながら友達と一緒に遊べる活動を考えている。 (主学) 教師と一緒に会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとしている。 (知・技) 教師の支援を受けながら沖縄戦や慰霊の日の意味について理解している。 (思・判・表) 沖縄戦の絵や読み聞かせから教師と一緒に気づいたことを話し合っている。 (主学) 身近な生活の中にある平和について教師と一緒に考えようとしている。	○なかよくなろう ○平和学習	・話し合いの進め方の確認をする。 ・遊び大会など友達と一緒に遊べる活動について話し合う。 ・会の準備や司会進行など係分担し、協力して会をすすめる。 ・沖縄戦や平和についての絵本等の読み聞かせを聞く。 ・友達と日常の中で平和に感じることを話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く「学校は楽しいね」 ○道 D・生命の尊さ 「うれしくなる言葉」 ○生 E・安全 「安全のためにきまりを守ろう」
	7月	3	(知・技) 教師と一緒に他学年の良さに気づく。 (思・判・表) 発表を見て、教師と一緒に気づいたことや良かった点について話し合うことができる。 (学・人) 教師と一緒に他学年のいいところをさがし、異学年の交流を楽しみにすることができる。 (知・技) 規則正しい生活の良さを知り、教師と一緒に夏休みの過ごし方に生かせるようにする。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら自分の成長について気づいたことを発表したり、友達の発表を聞くことができる。 (学・人) 教師と一緒に自分の目標や友達のがんばった様子を互いに振り返ることができる。	(知・技) 教師と一緒に他学年の良さに気づくことができる。 (思・判・表) 発表を見て、教師と一緒に気づいたことや良かった点について話し合っている。 (主学) 教師と一緒に他学年のよさをさがし、異学年交流を楽しみにしている。 (知・技) 1学期のめあてを振り返り、教師と一緒に自分のがんばりが成長につながったことを理解している。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら自分の成長について気づいたことを発表したり、友達の発表を聞いたりしている。 (主学) 教師と一緒に自分の目標や友達のがんばった様子を互いに振り返ろうとしている。	○1学期を振り返ろう ○学年紹介 ○誕生会	・好きな給食の献立について話し合う。 ・栄養士のお話を聞く。 ・好き嫌いをなく給食を食べるための工夫を話し合い、自分のめあてを決める。 ・話し合いの進め方の確認をする。 ・キャリアパスポートの活用 ・学期初めにたてためあてを振り返る。 ・規則正しい生活をおくするためにできることを話し合ったり、安全についての約束を確認したりする。 ・他学年紹介のビデオを見る ・教師と一緒にダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す 「学校のことを話そう」 ○国 A・聞く・話す B・書く「くわしく話そう」
	9月	3	(知・技) 2学期の学習内容について教師と一緒に話を聞き、見通しを持つことができる。 (思・判・表) 2学期の学習・行事などを知り、教師と一緒に自分の頑張りたいことを考えることができる。 (学・人) 教師と一緒に他学年の良さをさがし、異学年交流を楽しみにできる。	(知・技) 教師の支援を受けながら自分のめあてを達成するために頑張ることを理解している。 (思・判・表) 1学期を踏まえて、教師と一緒に頑張りたいことを考えている。 (主学) 新しい学期に向け、教師と一緒に自分が決めためあてに意欲をもって取り組もうとしている。 (知・技) 教師と一緒に他学年の良さに気づくことができる。 (思・判・表) 発表を見て、教師と一緒に気づいたことや良かった点について話し合っている。	○目標をたてよう ○学年紹介	・話し合いの進め方の確認をする。 ・2学期頑張ろう会で2学期の行事や学習についての話を聞く。 ・自分のめあてを考え、発表したり、友達の発表を聞いたりする。 ・自己紹介の仕方について話し合う。 ・他学年紹介のビデオを見る ・教師と一緒にダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く「くわしく話そう」 ○道 B・礼儀 「友達と仲良く」
	10月	4	(知・技) 話し合いの仕方を身に付ける。 (思・判・表) 経験したことを思い出し、教師と一緒に友達と一緒に遊べる活動を考える。 (学・人) 教師と一緒に、会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組む。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、教師と一緒に自分の役割について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に交流会に向けて見通しを持ち、互いに楽しもうという意欲を持つことができる。	(知・技) 話し合いの仕方を身に付けている。 (思・判・表) 経験したことを思い出し、教師と一緒に友達と一緒に遊べる活動を考えている。 (主学) 教師と一緒に会の進め方を考え、係分担や準備などに協力して取り組もうとしている。 (知・技) 交流会の楽しさを知り、教師と一緒に自分の役割について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に交流会の内容や準備などについて考え、楽しんで実践している。	○おぼけやしきであそぼう ○交流会をしよう ○自分の体を知る(ここからわーく)	・話し合いの進め方の確認をする。 ・どんなおぼけやしきにするか友達と一緒に遊べる活動について話し合う。 ・会の準備や司会進行など係分担し、協力して会をすすめる。 ・事前学習を通して、交流学習への見通しを持つ。 ・からだの名称 ・からだの観察 ・自分のからだに触れる	○体 「かけっこ・リレー・ダンス」

2 学 期	11月	4	(知及技) 自分の体の健康と食べ物との簡単な関わりについて理解できる。 (思判表力) これまでの給食の食べ方を振り返り、教師と一緒に自分に合った食べ方を考える。 (知・技) 読書の楽しさを知り、教師と一緒に伝え合うための方法を身に付ける。 (思判表力) 読書へ関心を持ち、読み聞かせを楽しんだり、教師と一緒に友達に紹介したりできる。 (知及技) 教師と一緒に地震が起きた時、避難の仕方や身の守り方を理解できる。 (思判表力) 教師の支援を受けながら自分ができし事を考えて発表したり、選択肢から選んだりする。 (知及技) 教師の支援を受けながら他学年の良さに気づくことができる。 (思判表力) 発表を見て、教師の支援を受けながら気づいたことや良かった点について話し合う。 (学・人) 教師と一緒に他学年のよさをさがし、異学年交流を楽しみにできる。	(知・技) 自分の体の健康と食べ物との簡単な関わりについて理解している。 (思・判・表) これまでの給食の食べ方を振り返り、教師と一緒に自分に合った食べ方を考えている。 (知・技) 読書の楽しさを知り、教師と一緒に伝え合うための方法を身に付けている。 (思・判・表) 読書へ関心を持ち、読み聞かせを楽しんだり、教師と一緒に友達に紹介したりしている。 (知・技) 地震が起きた時、教師の支援を受けて避難の仕方や身の守り方を理解している。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら自分ができし事を考えて発表したり、選択肢から選んだりしている。 (知・技) 教師の支援を受けながら他学年の良さに気づいている。 (思・判・表) 発表を見て、教師の支援を受けながら気づいたことや良かった点について話し合っている。 (主学) 教師と一緒に他学年のよさをさがし、異学年交流を楽しみにしている。	○バランスのよい食事 ○本の世界を楽しもう ・性の多様性 (ここからわーく) ○学年紹介	・好きな給食の献立を話し合う。 ・栄養士の話聞く。 ・好きな本を読んだり、絵本の読み聞かせを聞いたりする。 ・好きな本を友達に紹介する方法を話し合う。 ・自分らしさ ・性のあり方について ・訓練を振り返り、どのように避難したら良いか、気づいたことを発表する。 ・ビデオの活用 ・他学年紹介のビデオを見る ・教師と一緒にダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く「仲間集め」 ○国 A・聞く・話す 「お話を演じてみよう」 ○生 イ・安全 「安全のためにきまりを守るう」
	12月	3	(知及技) 教師と一緒に冬休みの過ごし方について考えることができる。 (思判表力) 学期始めにたてためあてを振り返り、教師と一緒に発表することができる。 (学・人) 教師と一緒に自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持って取り組む。 (知及技) これまでの経験を振り返り、教師と一緒に友達と楽しめる活動を考え、計画をたてることできる。 (思判表力) 話し合って決めたことについて、教師と一緒に協力し合って実践できる。 (学・人) お楽しみ会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら教師と一緒に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に2学期のめあてを振り返り、自分のがんばりが成長につながったことを理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の成長について気づいたことを発表したり、友達の発表を聞いたりしている。 (主学) 教師と一緒に自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持って取り組んでいる。 (知・技) 教師と一緒に、これまでの経験をもとにお楽しみ会の簡単な役割分担や準備の仕方を身に付けている。 (思・判・表) 教師と一緒に話し合って決めたことについて、協力し合って実践している。 (主学) お楽しみ会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら教師と一緒に取り組もうとしている。	○2学期を振り返ろう ○お楽しみ会をしよう ○誕生会 ○エイズデー・ブライベートゾーン (ここからわーく)	・話し合いの進め方の確認をする。 ・自分のたてためあてを振り返ったり友達のがんばった様子を聞いたりする。キャリアパスポート活用。 ・冬休みのしおりを読み合わせ、規則正しい生活について話し合う。 ・これまでの経験を振り返り、お楽しみ会の内容や準備について話し合う。 ・係分担をして準備や進行などを行う。 ・からだの特に大切なところ ・見せたりさわらせてもいい時は？	○国 A・聞く・話す B・書く「くわしく話そう」 ○道「学校は楽しいね」
	1月	3	(知及技) 教師と一緒に3学期の学習や行事について知り、見通しをもつことできる。 (思判表力) 教師と一緒に新しい年に向けて頑張りたいことを考えることできる。 (学・人) 新しい学期に向け、教師と一緒に自分が決めためあてに意欲をもって取り組む。 (知及技) 児童会の活動や選挙・投票の仕方について理解する。 (思判表力) 児童会について知り、教師と一緒に異学年児童と協力しながら選挙や投票に関わることできる。 (学・人) 児童会の活動について関心を持ち、教師と一緒に積極的に関わることできる。 (学・人) 教師と一緒に他学年の良さをさがし、異学年交流を楽しみにしている。	(知・技) 教師と一緒に自分のめあてを達成するために頑張ることを理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に新しい年に向けて頑張りたいことを考えている。 (主学) 新しい学期に向け、教師と一緒に自分が決めためあてに意欲をもって取り組もうとしている。 (知・技) 児童会の活動や選挙・投票の仕方について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に児童会役員になってやりたいことを考えたり、友達の意見を聞いて役員を選んだりしている。 (主学) 児童会の活動について関心を持ち、教師と一緒に関わろうとしている。	○3学期頑張ろう会 ○児童会選挙事前学習 ○児童会役員引き継ぎ式・任命式 ○学年紹介	・話し合いの進め方の確認をする。 ・3学期の行事や学習についての話を聞く。 ・3学期のめあてを考えたり、選択肢の中から選んだりして発表する。 ・児童会活動について話を聞く。 ・児童会選挙で自ら立候補したり、頑張て欲しい人を応援したりする。 ・訓練を振り返り、どのように避難したら良いか、気づいたことを発表する。 ・ビデオの活用 ・他学年紹介のビデオを見る ・教師と一緒にダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「くわしく話そう」 ○生「社会の仕組みと公共施設」 ○生 エ・安全 「安全のためのきまりを守るう」 ○音「身振りをつけてみんなて歌おう」

3 学 期	2月	2	(知及技) 教師の支援を受けながら、会の準備や役割分担、進行を考え、協力して運営することができる。 (思判表力) みんなで体を動かしたりして楽しめる遊びを教師の支援を受けながら、話し合うことができる。 (学・人) 遊び大会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりして教師と一緒に取り組む。	(知・技) これまでの経験をもとに簡単な自分の役割や準備の仕方を理解している。 (思・判・表) 話し合って決めたことについて、教師と一緒に実践している。 (主学) 遊び大会を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりして教師と一緒に取り組もうとしている。	○遊び大会をしよう	・話し合いの進め方の確認をする。 ・どんな遊び大会にしたいか意見を出し合い、話し合う。 ・会の計画、役割分担などの準備や進行を協力して行う。	○道 「学校は楽しいね」
	3月	3	(知及技) 友達と協力して、みんなが楽しめる会を教師と一緒に計画、準備、実践できるようにする。 (学・人) 話し合ったことをもとに、みんなで協力し、教師と一緒に簡単な準備に取り組めるようにする。 (知及技) 教師と一緒に自分の頑張りを振り返る。 (思判表力) 一年間の自分の成長を振り返り、教師と一緒に気づいたことを発表できる。 (学・人) 教師と一緒に振り返ることによって自分の成長に気づき、来年度に向けての期待感を持つようにする。 (知及技) 教師と一緒に他学年の良さに気づく。 (思判表力) 発表を見て、教師と一緒に気づいたことについて話したり、友達の発表を聞いたりする。 (学・人) 他学年に関心を持ち、教師と一緒に交流を楽しむ。	(知・技) 自分の簡単な役割や教師と一緒に準備することを理解している。 (思・判・表) 話し合って決めたことについて、教師と一緒に実践している。 (主学) お別れ会への見通しを持ったり振り返ったりしながら教師と一緒に取り組もうとしている。 (知・技) 教師と一緒に自分の頑張りを振り返ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に一年間の自分の成長を振り返り、自分の頑張りを発表している。 (主学) 自分の頑張りに気づいて、来年度に向けての期待感を持っている。 (知・技) 教師と一緒に他学年の良さに気づくことができる。 (思・判・表) 発表を見て、教師と一緒に気づいたことについて話したり、友達の発表を聞いたりしている。 (主学) 他学年のよさを教師と一緒に見つけ、異学年交流を楽しみにしている。	○お別れ会をしよう ○学年紹介 ○1年間を振り返ろう ○誕生会	・話し合いの進め方の確認をする。 ・お別れ会の内容について話し合う。 ・役割分担し、協力しながら準備・進行を行う。 ・ビデオや写真等で1年間を振り返る。 ・個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・1年間で頑張ったことを発表する。 ・他学年紹介のビデオを見る ・教師と一緒にダンスなどを楽しむ。 ・他学年の良さについて、教師や友達と一緒に話し合う。	○道 B感謝 「日頃お世話になっている人」 ○道 A個性・伸長 「よいところをみつけよう」
留意点 引継等							
評価方法		・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・教師の支援の度合い ・質問への受け応え ・ワークシート					